泊駅南公園 遊具上屋 建築工事

	図面リスト													
図番	【意匠】	図番	【構造】											
A - 0 1	建築特記仕様書 その 1	S - 0 1	構造特記仕様書											
A-02	建築特記仕様書 その2	S-02	概要書											
A — 0 3	建築特記仕様書 その3	S – 0 3	鉄筋コンクリート配筋標準図 [1]											
A — 0 4	建築特記仕様書 その4	S - 0 4	鉄筋コンクリート配筋標準図 [2]											
A - 0 5	建築特記仕様書 その 5	S-05	基礎伏図・基礎リスト・RC柱型											
A - 0 6	配置図・附近見取図・敷地面積求積図・求積図	S-06	小屋伏図											
A — 0 7	屋根伏図・平面図・立面図・断面図	S-07	軸組図 No. 1											
A - 0 8	矩計図	S-08	軸組図 No. 2											
		S-09	鉄骨詳細図											
		S-10	膜納まり詳細図											

朝日町 建設課

泊駅南公園 遊具上屋 建築工事 A-00 表紙・図面リスト

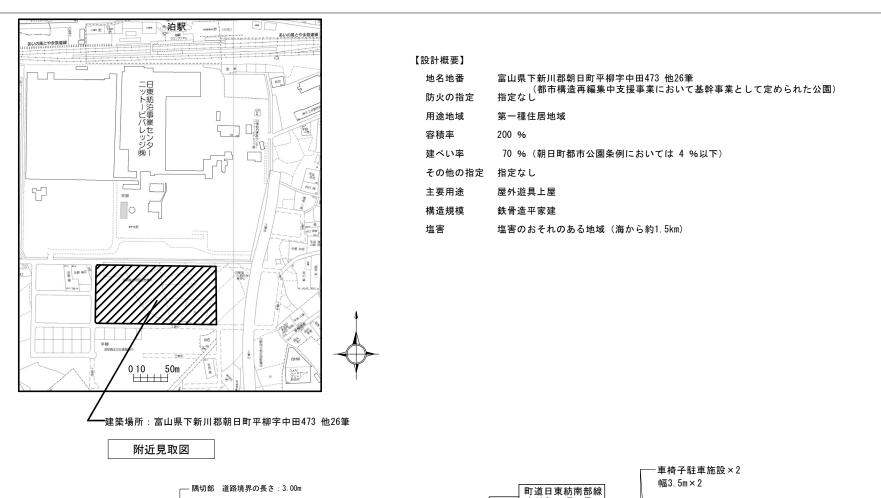
仕札	兼書		⑧ 発生材の処理等	※発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理するものと する。	25 特例監理技術者及び 監理技術者補佐の配置	本工事において、建設業法第26条第3項ただし書きの適用を受ける監理技術者(以下、		22 4 4 7 7 7 7 7	は 連続間反応金の切り手体及及性変性のものもめ、この下面は異数次を間の仕事の始めずし」で
	L事概要 1. 工事名称	泊駅南公園 遊具上屋 建築工事		9 る。 ※舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等 により回収し、適正に処理する。	監理技術者補佐の配置	整理技術者」という。)の配置を行う場合は、以下の(1)から(9)の要件を全て満たさなけらない。 (1) 建設業法第26条第3項ただし書きによる監理技術者の職務を補佐する者(以下、「		33 ウィークリースタンス	1 建設関係企業の担い手積保や生産性向上のため、この工事は受免注者間の仕事の進め方として、 下記のとおり、ウィークリースタンスの取り組みに努めることとする。(1) 月曜日を依頼の期限日としない(マンデー・ノービリオド)
	2. 工事場所	地名 富山県下新川郡朝日町平柳 地内 数地面積		・現場説明書による		お補佐」という。)を専任で配置すること。 ・ 変理技術者補佐は、1 級建築施工管理技士補及び1級建築施工管理技士等の国家資			(2) 水曜日は定時に帰宅できるよう必要な対応を心掛ける (ウェンズデー・ホーム)
	2. 工争场用	都市計画区域 ○内 (・市街化区域 ・市街化調整区域 ○その他) ・外		※運搬、処分委託契約書の写しの提出 ※マニフェスト管理―覧表の提出		歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐	の建設業		(3) 金曜日に依頼しない (フライデー・ノーリクエスト) (4) 昼休みや午後 5時以降の打合わせをしない (ランチタイム・オーバーファイブ・ノーミーティング
	3. 建物概要	用途地域 第一種住居地域 防火地域 指定なし 構造 鉄骨 造 階数 1 階建		・マニフェスト (A票、B2票、D票、E票) の写しの提出 ・引波しを要するもの ()		法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同こと。	しである		(5) 定時間際、定時後の依頼をしない (イブニング・ノーリクエスト) 2 この取り組みは、受発注者間の業務を進める上での姿勢を示したものであり、現場条件や
		建築面積 329.89 m2		・再利用を図るもの() ・特別管理産業廃棄物の種類()		(3) 整理技術者補佐は、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 (4) 同一の特例監理技術者を配置できる工事は、同時に2件までとする。ただし、同一			企業の方針等により曜日の変更等を行うことができるものとする。 3 災害発生時などの緊急対応については、上記の限りではなく、受発注者が協力して臨機の対応
		外壁仕上 鋼材の上、鋼構造物用耐候性塗料塗 JIS K 5659 建築物の用途(建築基準法) 屋外遊具上屋		・同上処理方法 (・分別を図るもの (別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係 あって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの(当	初の請負	34 建設現場の遠隔臨場に	を行うものとする。 本工事は、受発注者の移動時間の削減のため、「建設現場の遠隔臨場に関する試行要領(令和5年
		耐火建築物等の別 ・耐火建築物 ・準耐火建築物 (・イ ・ロー1 ・ロー2) ①その他 最高高さ 11.88 m 最高軒高さ 11.72 m 居室床高さ cm	9 解体工事等	・再資源化を図るもの (・再資源利用計画書等作成及び提出		契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。) については、これら 事を一つの工事とみなす。	複数の工	関する試行工事	4月富山県土木部)」の内容に従い、実施することができる。
		基礎形式 独立基礎 地盤の設計長期許容支持力度 50 KN/m2 垂直積雪量 1.5 m		・建設リサイクル法対象工事 ・特定建設資材廃棄物の種類:		(5) 兼務する工事が特例監理技術者としての職務を適正に遂行できる範囲内にあること 範囲については、工事現場が同一の土木センター、事務所管内にあること。	。なお、		
		耐震安全性の分類 構造体 ・I類 ・I類 ②Ⅲ類 (重要度係数 ・1.5 ・1.25 ②1.0) (第万態除の服金額度・対洋波計編集等) 建築非構造部材 ・A類 (出入口扉除く) ・B類	10 電気保安技術者	- 再資源化施設の場所: ※適用する		(6) 特例監理技術者が兼務できる工事は、24時間体制での応急処理工や緊急巡回等が必以外の工事でなければならない。	要な工事		
		建築設備 ・甲類 ・乙類	①1) 監督職員事務所	・設ける(規模: m2程度)WiFi環境、WEB会議が実施可能な環境 ・設けない		(7) 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程 の職務を適正に遂行しなければならない。	の立会等		
	4. 工事範囲	公園工事	(2) 工事用水 (3) 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる (※有償 ・無償) 構内既存の施設 (※利用できない ・利用できる (※有償 ・無償)		(8) 特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。 (9) 監理技術者補佐が担う業務について、明らかにすること。			
			(4) 工事用仮設物 (5) 施工機械	構内設置 ①できる・できない 「富山県土木工事共通任株書」1-1-1-33環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・		本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務することとなる場合、上記(1)から(9 について確認できる書類を提出すること。)の事項 1-2	2 ① 適用基準等	※建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 令和4年版) ※国土交通大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)による工事写真撮影
	-			・		本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要った場合は適切にコリンズ(CORINS)への登録を行うこと。	なくな 般		が出て、一般の自然を表現の場合を表現の表現を表現を表現しません。
	-		における常駐を要しない期間	スのかられたがに必ずるし、が 7 元と19 との連続体制が確保となると必めた場合には、 工事必須における常駐を要しない期間として取り扱う。 (1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間	②6 完成図等	※着工時製本 (②原図版 1 部 ()縮小版 版 6 部) ※完成図製本 (黒表紙) (②原図版 部 ()縮小版 版 2 部)	通	② 適用区分	※曲山米地下村田地市のカーケック(米)に東米土子機関(ヤ和ノキャカ) ・建築物解体工事共通仕様書・同解説 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版) 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雲荷重の算定には次の条件を用いる。
II §	主築工事仕様		ANI III	(2) 工事の全部の施工を一時中止している期間		※完成図 C A D データ (⊗C D − R 等 1 部)	項	1 -	・地区の区分に応じた風速 (Vo(m/sec)) ※30・32
	1. 共通仕様		① 主任技術者又は監理技			・施工図・保全に関する資料	2		・地表面程度区分 ・I ・II ※III ・IV ※積雪荷重 ※多雪区域
	(建築工事編)	株に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書 令和7年版」(以下「標仕」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」	術者の専任を要しない 期間	(1) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間	②② 工事写真	写真種別 撮影態所数 提出規格 拡張子 構成 運動 着工前写真 適正数 上版程度 完成写真 PDF ・完成写真のみ(新築の場合) 130万~		③ 施工条件 ④ 建築材料等	施工時間、工程、安全対策、工事用道路、仮設設備等は監督職員と協議する。 ※本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上のものとする。
	(2)電気設備工事	E仕」という。)による。 2び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を		(2) 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間(3) 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、		完成写真 適正数 (3枚/頁) ・完成写真のみ(新築の場合) 130万~ 施行中写真 適正数 - JPEG -	300万画素		ただし、同等以上とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 使用する建築材料等に「富山県グリーン購入調達方針」で定めるものがある場合には、それに
	適用する。			後片付け等のみが残っている期間 (4) (1)又は(2)に類した理由で、工事が不稼働である期間	②8 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。			適合するものとする。 - 本工事で使用する下記の品目については、公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針
	 特記仕様 (1)項目は、番号 	CO印の付いたものを適用する。		(5) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間	29 電子納品	※電子納品対象工事 以下の示す書類を電子納品する。			において優先利用グループに区分されている製品を利用する。 ただし、その製品の入手が困難な場合は、監督職員と協議し、通常製品(新材で製造された
)印の付いたものを適用する。 場合は、※印の付いたものを適用する。	18 安全教育・訓練の実施	労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即し た安全教育・訓練等を、月当たり半日以上の頻度で実施するものとする。	30 東洋ゴム化工品(株)	※工事写真 ・施工計画書 ・完成図(CADデータ) ・参考図(ラスターデーター) 受注者は、東洋ゴム化工品(株)および、ニッタ化工品(株)で製造された製品や材料(以)	下、ゴム製		製品) へ変更できるものとする。 工種 品目 規格
	○印と ●印の	いた場合は、共に適用する。	(9) 調査・試験に対する	「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-29 工事中の安全確保 ※公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなけれ	及びニッタ化工品(株 の製品及び材料	品等とする。別表参照)を用いる場合には、同社が製造するゴム製品等に対して受注者が 三者(東洋ゴム化工品(株)および、ニッタ化工品(株)と資本面・人事面で関係がない者)			- 「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」に基づき、パイロット工事として
			協力	ばならない。(富山県土木工事共通仕様書 1-1-1-13) ・本工事は、工事費積算のより一層の適正化を図ることを目的とした「共通費実態調査」の対象工		成された品質を証明する書類を提出し、監督員の確認を得るものとする。 なお受注者は、品質証明にあたって実施すべき試験及び検査、並びに製品に応じて必要			
			20 工事特性・創意工夫	事である。作成した調査票は監督職員に提出すること。 受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する		いて調査した上で整督員と協議すること。 (試験名と計測項目)			7711
章	項目	特 記 事 項	社会性等の実施	項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成時までに「富 山県請負工事成績評定要領第4第7項に定める様式により提出することができる。		試験名 計測項目 通常状態での試験(常態試験) ※硬さ ※比重 ※引張強度 ※伸び・		⑤ 技能士	適用工事種別 技能検定の職種 仮設工事 ②とび作業
1-1		登録 適用する (「工事カルテ受領書」の写しを提出) 化 本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。	②① 暴力団関係者から不当 な介入を受けた場合の	受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固として これを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届		熱老化試験 ※熱老化前後での変化率(硬さ、比重、引張強度、伸	び)		・ ウェルポイント工事作業 鉄筋工事
般		提出 受注者は、請負代金内訳書を作成し、工事請負契約締結後7日以内に発注者に提出すること。	措置	け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には		圧縮永久ひずみ試験 ※圧縮による残留歪み ・ 製品検査 ※外観 ※寸法 ※性能・			MANDROLL
共通	⑤ 環境への配慮	(1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次	00 15341.45 4.48.66	速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督 職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。		第三者による品質証明書類を提出し監督員の確認を得た場合であっても、後に製品不良	事が判明		コンクリートプロック・ALCパネル・コンクリートプロック工事作業
事項		の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクル	22 低入札となった場合に おける技術者の増員等	1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることによった。		した場合に受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。 (別表)			防水工事 ・7スファルト防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業
1		ボード、その他の木質連材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、 仕上げ塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、		る。 (1) 建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合		製品及び材料名 防振ゴム ディーゼルエンジン用防振ゴム、ゴム製軸継手			・塗護防水工事作業 (・ウレタンゴム系 - アクリルゴム系) ・シート防水工事作業 (・合成ゴム系 ・塩化ピニル系)
		設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。		専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあっては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあっては主任技術者		産業機械用空気ばね 芝保護材			・シーリング 防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・FRP防水工事作業 石工事 ・石材施工(石張り施工)
		③ 接着剤は可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない 難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。		になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの 工事に配置する技術者は、受注者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。		落橋防止用ゴム 道路資材 車止め (ガードコーン) 視線誘導標・車線分離標			タイル工事 ・タイル張り作業 木工事 ・大工工事作業
		④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。		(2) 建設業法の規定による技術者の専任配置が義務づけられていない工事の場合 同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。		弾性舗装材 ゴムチップ舗装材 建築防水資材			屋根及びとい工事 ・内外装板金作業 ・がり板金作業 ・かわらぶき作業 金属工事 ・鋼製下地工事作業
		(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の ①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。		2 1の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を 行うものとする。	31 快適な仮設トイレの	本工事は、建設現場をより働きやすい環境に改善するため、受注者が希望すれば、快適	に使用で		左官工事 ・左官作業 ・樹脂接着剤注入工事作業 建具工事 ・ピル用サッシ施工作業 ・自動ドア施工作業 ・カ゚ラス工事作業
		① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発 散建築材料以外の材料		3 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札した者が受注者となった場合 下配試験項目の試験頻度を2倍とする。	設置工事	きる仮設トイレ (洋式トル・快適トル) を設置することができる工事である。 快適な仮設トルの設置工事の実施にあたっては、『「快適な仮設トルの設置工事」につい	このお知		カーテンウォール工事 ・金属製カーデンウォール工事作業 ・ ガラス工事作業
		② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料		工事 試験項目 (「標仕」項目) 地業工事 ・セシントシントの根固め液及び机周囲固定液の管理試験 (4.3.4)		らせ』によるものとする。このお知らせは、下記富山県のホームページから入手できる。 (https://www.pref.toyama.jp/1510/sangyou/nyuusatsu/koukyoukouji/kj00017588.html)			内装工事 ・床仕上げ工事作業 (・プラスチック系 ・カーペット系・木質系) ・銅製下地工事作業 ・ポード仕上げ工事作業
	⑥ 材料の品質等	④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を		・スランプ、空気量、塩化物量、強度試験(4.5.3) 鉄筋工事 ・圧接完了後の試験(5.4.10)	32 余裕期間制度	・フレックス方式対象工事 (1) 本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者がエ	事の始期		・表装作業 ・壁装作業 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業 ユニット及びその他工事 ・カーテン工事作業
		有するものとする。 (2) 商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合		コンケリート工事		及び終期を設定することができる工事であり、富山県土木部所管建設工事に係る余裕 (フレッウス方式) 試行要領に基づき実施するものとする。	期間制度		排水工事 ・建築配管作業 ・溶融へ イントルント・マーカー工事作業 ・加熱へ イントマンマーカー工事作業
		は監督員の承諾を受ける。 (3) 標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。		- スラッド溶接後の試験 (7.7.6) - 引抜き耐力の確認試験 (10.2.2)		(2) 工事の始期は、契約締結日の翌日から〇年〇月〇日まで、工事の終期は、〇年〇月 とする。	〇日まで		植裁及び屋上緑化工事 ・ 造園工事作業 解体工事 ・ 解体工事施工技士
		(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されてこと		9(ル工事 ・接着力試験 (11.1.7) 金属工事 ・引抜き耐力の確認試験 (14.1.3)		(3) 受注者は、工事の始期後14日以内に施工計画書を発注者に提出するものとする。 (4) 受注者は、受注時のコリンズ(ODMRINS)への登録については、工事の始期後10日 (休日	を除く。	6 技術検査	土木部建築工事監督要領による。
		を示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明 となる資料等の提出を省略することができる。		127ト及びその他工事 ・引抜き耐力の確認試験 (20.2.4) 舗装工事 ・CBR、締固め度、厚さ、切取り、抽出試験 (22.2.5) (22.3.5) (22.4.6)) 以内に登録するものとする。 (5) 受注者は、工事の始期後に速やかに、退職金制度届出書を発注者に提出するものと	する。	7 室内空気中の化学物質 の濃度測定	施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物等の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告書を提出する。
		① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。		(22. 5. 6) (22. 6. 6) (22. 7. 6)		(6) 余裕期間内に行う資機材の準備及び、技能労働者の手配などの準備等に必要な現地 り(工事着手以外の行為とする)については、発注者に了解を得るとともに関係法令	への立入		測定する箇所数: 箇所 測定箇所:※監督職員の指示による。 ・図示
		③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。	23 間接工事費等の調整に	本工事は、朝日町が先行発注した下の工事(以下、「現工事」という。)と当該追加工事の設計額		く必要な手続きを行うものとする。 (7) その他この特記仕様書に記載のないことについては、富山県土木部所管建設工事に			室内濃度測定対象物質:※ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン ・パラジクロロベンゼン (学校施設の場合)
			ついて	の合計額より定まる率によって算定した諸経費等から、現工事にかかる諸経費等を控除した額で調整 した金額とする。		期間制度 (フルカカ大式) 実施要領によるものとする。 ・発注者指定方式対象工事	N 0 N 111		測定方法 ホルムアルデヒド その他の揮発性有機化合物
		(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料	24 総合評価方式	工事番号: 工事名: 工事		(1) 本工事は、出水別や厳冬期などにより工事期間や工事の始期が限定されるという施 もとで、円滑な工事施工体制の確保し、発注業務の計画的な履行と平準化を図るため			探取 ジニトロフェニルヒドラジン 固相吸着/溶媒抽出法 誘導体固相吸着/溶媒抽出法
		無収縮グラウト材、乾燥式保護材、既製調合モルタル、既製調合目地材、錠前類、クローザ類、自動屏機構、自閉式上吊り引戸機構、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、	24 総合計圖方式	※ 受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料(技術提案書又は簡易な施工計画)の内容を履行すること。※ 受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなけ		期内で発注者が余裕期間と実工期を指定する富山県土木部所管建設工事に係る余裕期			分析 高速液体クロマトグラフ(HPLC) ガスクロマトグラフ法
		移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、ゲレーチング、 屋上緑化システム、エボキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル		ればならない。		発注者指定方式)試行要領に基づき実施するものとする。 (2) 工事の始期は、〇年〇月〇日とする。		0 40 41 - 71 - 72 4	採取法:パッシブ型採取機器により行う。
		床型枠用鋼製デッキブレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、ルーフドレン、吸水調整材、 重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、可動間仕切、トップライト、鋳鉄製ふた		※ 上記2項目を履行できない場合及び受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に虚偽の報告があった場合においては、富山県公共工事総合評価方式施行要領に基づき工		(3) 受注者は、工事の始期後14日以内に施工計画書を発注者に提出するものとする。(4) 受注者は、受注時のコリンズ(COMRINS)への登録については、工事の始期後10日(休日	を除く。	8 設備工事との取合い 9 設計GL	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 ※図示 ・ 設計GL=現状GL
	(7) 地場産品の優先 使用等	受注者は、工事に使用する資材等について、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合		事成績の滅点 (標準型においては、工事成績の滅点及び違約金の徴収) をすることがある。 ・本工事は「登録基幹技能者の配置」を活用した試行工事であり、受注者は、下記工種において登) 以内に登録するものとする。 (5) 受注者は、工事の始期後に速やかに、退職金制度届出書を発注者に提出するものと		① その他事項	同時期に発注を予定している公園遊具整備工事との工事工程の調整を図ること。また、 その他関連工事との工事工程の調整を図ること。
		には県内地場産品(建設資材又は製品等で、県内で最終製造工程が施されたもの又は県内に本社 本店を置く取扱業者から調達したものをいう。)を優先使用するものとする。		録基幹技能者を配置する場合は、あらかじめ施工計画書により、登録者情報や配置予定期間、作業 内容等を発注者に報告することとし、配置予定期間及び完成検査時において、発注者による履行の		(6) 余裕期間内に行う資機材の準備及び、技能労働者の手配などの準備等に必要な現地 り(工事着手以外の行為とする)については、発注者に了解を得るとともに関係法令			
		※ 県内企業の優先選定等 受注者は、工事に係る下請契約又は資材等納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は富		確認を行うこととする。なお、履行が確認できない場合、富山県公共工事総合評価方式試行要領に 基づき工事成績の減点をすることがある。		く必要な手続きを行うものとする。 (7) 低入札価格調査等により、発注者が指定する工事の始期以降に契約を締結すること	となった		
		山県内に本社・本店を置くものの中から選定するよう努めなければならない。		対象工種 ・〇〇エ ・□□エ ・△△エ ・この工事は「下請負契約における県内企業の活用」を評価の対象とした試行工事である。施工時		場合には、余裕期間を適用しないものとする。 (8) その他この特配仕様書に記載のないことについては、富山県土木部所管建設工事に	係る余裕		
				及び完成検査時において、発注者による履行の確認を行うこととする。なお、受注者の責に帰すべき理由により、入札時の申請に反して、施工時に県内企業の活用ができなかった場合には、工事成		期間制度(発注者指定方式)実施要領によるものとする。			
				横評定点を3点減点する。					
	<u>I</u>					設計年月日		工事名称	泊駅南公園 遊具上屋 建築工事
	朝日	町建設課						図面名称	m R A−01
					1			1	建築特記仕様書 その1

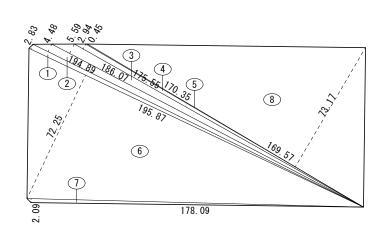
2 ① 足場その他	内部足場 種別 ・脚立、足場板等 外部足場 種別 ※枠組足場 ・くさび緊結式足場 ・単管本足場 ・ ()	6 ① コンクリートの種類	コンクリートの使用者材による種類	② 溶接接合	以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。	1 アスファルト防水	防水層の種別(保護防水・露出防水) 種類・種別 施 工 箇 所
設 士	外部足場の設置に当たっては、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生 労働省 基発第0424001号平成21年4月24日)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」の	コ ン ク 2 コンクリートの使用材			1)開先の形状 別 スカラップの形状 別 スカラップの形状 別 エンドタブの初除の有無及び適用箇所 コ		· A – 2 · A I – 2
事	別紙 「「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2) 手すり据置方式又 は (3) 手寸り光行再用足場方式により行う。 防護>-等による養生 ※投置する(・奏生>-ト・われ状養生>-ト・防音>-ト・防音>-ト・防音>-ト・防音>-ト・防音>-ト・防音>-ト・防音>-ト・防音>-ト・防音>-ト・防音>-ト・防音>-ト・防音>-ト・防音>-ト・防音>-ト・	リ 料、施工条件、要求性 能等による種類	寒中コンクリート適用期間()	③ 溶接条件	入塾、バス間温度の溶接条件 適田等等 の テ	•	• B I - 2 • D - 2
	なお、出入口等の上部は必要に応じて防護棚を設ける。 ・設置しない 3	F	・ 暑中コンクリート 構造体強度補正値(S)の値 ※6N/mm2・ マスコンクリート セメントの種類() 混和材料())		適用箇所 · 図 示		断熱工法の断熱材(立上り部 ・設置する ・設置しない) 屋根保護防水 種類 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き)
g grade day of the day	材料、撤去材等の運搬 ・ A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種		スランブ () ・ 無筋コンクリート スランブ ()		鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 入		厚さ (mm) ・25 ・50 ・ 屋根露出防水 種類 ・図示 ・
2 既存部分の養生 (改修工事の場合)	既存部分の養生方法 ※ピニールンート等 ・	3 コンクリートの	-		JIS Z 3211 YVW-11, 15		□ 宜上り前の保護材 (・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え ・モルタル押え) 乾式保護材の種類 「寸法 (mm): 厚さ×幅
	固定された備品、机・ロッカー等の移動 ・行う (図示)	設計基準強度			400 N 級鋼 YGW-18, 19 40 以下 350 以下 JIS Z 3214		・
3 仮設間仕切り (改修工事の場合)	仮設開仕切り等の種列 種 別 下 地 仕上げ材(厚さmm) 充填材 (mm) 塗 装 ・ A種 ※程量鉄骨 ※せっこうボード (※9.5 ・) 厚さ() ※無し	④ コンクリートの類別 5 気乾単位容積質量	※I類 · □類 ※2.3t/m3程度 ·		YGA -50W, 50P JIS Z 3211 40 되자 350 되자 YGW-11, 15 30 되자 250 되자		・金属複合版 ※約12×900 ・金属複と樹脂を積層一体化したもの。 ・ 数式保護材の品質・性能・試験方法は、図示による。
	**B種 ・木造 ・合板(※9 ・) ・片面 ・C種 単管 ・防炎シート	⑥ コンクリートの仕上り			490 N 級鋼 YGW-18, 19 JIS Z 3214 40 以下 350 以下		防水層の下地のモルタル塗り ・適用する(施工範囲 ※防水下地全て ・) ・適用しない
	仮設屏 ※木製屏 ・合板張り程度 ・行う ※無し (厚さ) ・片面	(7) to 4 > 1 o = ##	仕上りの平たんさ 種別 ・8種 ※b種 ・c種		YGA-50W, 50P 520 N 級網 YGW-18, 19 30 以下 250 以下 1	2 改質アスファルト シート防水	防水層の種別 施工箇所 ・ AS-T3 - AS-T3
3 (1) 埋戻し及び盛土の材	料 種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	(7) セメントの種類	※普通ボルトランドセメント又は混合セメントのA種 普通ボルトランドセメントの品質は、JIS RS210に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/k以下、かつ28日目で402J/k以下のものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合		ただし、 - 4000級額のSTKR・BCR及びBCPの作業条件は、YGM-11, 15で入熱30KJ/cm以下、バス間温度 250°C以下、YGM-18, 19での作業条件は入熱40KJ/cm以下、バス間温度350°C以下とする。		- A S − I 3 - A S − T 4 - 改質7.77/Hシ→熱工法(複層・絶縁工法)
土 及び工法等	六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない		を除く。 ・高炉セメントB種		 490M級鋼のSTKR・BCPの作業条件は、YGW-18, 19で入熱30KJ/cm以下、バス間温度250℃ 以下とする。 		7ススアカトは低煙・低臭タイプとし、改良型無煙釜を使用する。
事 ② 建設発生土の処理	・ 現場内で処理 ・ 横内指示の場所に堆積 ・ 横内指示の場所に敷き均し		・シリカセメント ・フライアッシュセメントB種 ・普通エコセメント	(4) 溶接部の試験	上記の溶接条件以外による場合は、監督職員と協議する。 溶接部の外親試験		断熱工法の断熱材 種類 ※押出法が19.74-74-無熱材3種bA(スキン層付き)・ 厚さ (mm)・25・ 透湿用シート ・設置する ・設置しない
	・ 場外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する。 なお、処理にあたっては「建設発生土情報交換システム」を活用する。	⑧ 骨材の種類	アルカリシリカ反応性による区分	7.015.00	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による	3 合成高分子系 ルーフィングシート	防水層の種別 施工 歯 所
	構外指定場所に搬出後 ※堆積 ・敷き均し 受入場所: 受入時間帯: 時 分~ 時 分		- A - B (※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m3 以下) ※監督職員との協議による。		・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付削 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3 「溶接」に関する試験方法等	防水	S - F 2 S - M 2 S 1 - F 2
	安八の間間 デー 時 ガー 時 ガー 版 医き等: 搬出調害を監督職員に提出する	② 混和材料	※三日報具とい回題による。 混和剤及び混和材の種類は、構造特配仕様書及び構造図による。		- JASS 10.4 [受入検査] e. 消接節の外親検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶検節の外親検査の外親検査の外親検査の放散箇所と同一とする。外親試験の不合格箇所は、 お		- S I - M 2
4 1 +++14 m = man	林の支持力、支持地盤の位置及び種類、及びこれらの確認のための試験の方法は、構造特配仕様書	⑩ 構造体強度補正値	構造体強度補正値(8) ※標仕表(6.3.2) による。		すべて標仕7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全浴込み部の起音波探傷試験 ※行う ・行わない ・工場溶接の場合		断熱工法の断熱材 種類 ・
4 1 支持地盤の確認 地 業	析の文持力、文持地壁の位置及ひ種類、及ひこれらの確認のための試験の方法は、構造特配性検告 及び構造図による。		ただし、普通ポルトランドセメントを用いるコンクリートでは、以下の補正値適用期間を使用する ことができる。 1799日 7月14日~9月2日 3月10日~7月13日 11月20日~3月9日		- 1- 4- 14- 14- 14- 14- 14- 14- 14- 14-		軽歩行仕様 (S-F2、S-M2) ※適用しない・適用する 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 屋内防水
エ 2 既製コンクリート杭 事 地業	· 特定埋込杭工法		打殺日 7月14日~9月2日 3月10日~7月13日 11月20日~3月9日 9月3日~11月11日 福正値 6M/mm2 3M/mm2 6M/mm2		- 工事現場溶接の場合 AOQL ※4.0% ・2.5%		保護層 運動のモルタル塗り 立上り部の保護
	林の種類 ・ 適心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・ ブレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭) ・ 外殻類管付きコンクリート杭 (SC杭) (鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490)	11 養生期間	※セメントの種類が普通エコセメントの場合は、次による。 ・ () 日以上	15 錆止め塗装	塗料 屋外 ※A種 (JISK5674 1 種) - B種 屋内 ※A種 (JISK5674 1 種) - B種		・S-C1 ・ <t< th=""></t<>
	以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 1) 杭の寸法、継手の箇所数と工法、杭先端部の形状、杭頭の処理等	① 型枠	以下の事項は、図示による。 1) 外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ		工程 見掛かり (※A種 ・B種) 見隠れ (・A種 ※B種)		(ウ)に準ずる ずる
	2 打込み工法における杭の設計支持力及び権定支持力の算定方法 3) 打込み工法におけるブレポーリングの照削深さ及び程 4) セメントミルク工法におけるアースオーガーの運削深さ及び杭の根入梁さ		び初れ誘発自己の位置、形状及び寸法 せき板の材料は、次による。 ※合版 (※12mm ・ mm) ・床型枠用鋼製デッキプレート ・メッシュ型枠	16 耐火被覆	種 別 適用箇所 所要性能 - ラス張リモルタル塗り ・ 乾式吹付けロックウール		平場の保護モルタル床塗りにおける目地 目地割 ※目急割が程度、最大目地間隔3m程度
	5) 杭の水平方向の位置ずれ及び傾斜の精度		・断熱材兼用型枠 (適用個所及び品質等は壊化19葉9節断熱・防露による) ・MCR工法用シートの使用(打増し厚さ・20mm 打増し範囲・図示による)		- 耐火材吹付け - ・ 軽式吹付けロックウール - 湿式ロックウール		日地の建類 ※押し日地 固定金具の材質及び寸法形状
3 鋼杭地業	杭の種類 ・銅管ぐい (・SKK400 ・SKK490) ・H形類ぐい (・SHK400 ・SHK490M)		せき板、支柱の存置期間は、標仕表(6.8.2)、標仕表(6.8.3)による。 なお、セメントの種類が普通エコセメントの場合は、次による。		・耐火板張り ・繊維混入けい酸加か払板 ・耐火材巻付け ・高断熱ロックウール	A Aberrati	※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面又は両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの
	以下の事項は、構造特配仕様書及び構造図による。 1) 杭の寸法、継手の箇所数と工法、杭先端部の形状、杭頭の処理等 2) 打込み工法における杭の設計支持力及び推定支持力の算定方法		佐 工 箇 所	17 軽量形鋼構造	ボルトの接合方法は構造特記仕様書及び構造図による。	4 塗膜防水	防水層の種別 種別 施工箇所 備考 x - 1
	3) 打込み工法におけるプレポーリングの振削深さ及び径 4) 杭の水平方向の位置ずれ及び傾斜の精度		コンクリートの 15°C以上 ・ ()以上 ・ ()以上 ・ ()以上 材齢による 5°C以上 ・ ()以上 ・ ()以上 ・ ()以上	18 溶融亜鉛めっき	亜鉛めっきの種別 材料 適用部位 A種(HDZT 77) 最低板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板		· X - 2 · Y - 1 ※地下外壁防水 ·
4 場所打ちコンクリー 杭地業	ト 堀削工法 ・アースドリル工法 (安定液 ・使用する ・使用しない) ・リバース工法		場合(日) 0°C以上 ・()以上 ・() 以上 ・() 以上<		B種 (HDZT 63) 最低板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、 類板 C種 (HDZT 49) 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	5 仕上塗料	・ Y-2 ※雇内防水 保護層の仕様 (Y-2) ・保護コンクリート ・保護モルタル 種類 ※製造所の仕様による ・ 使用量 ※製造所の仕様による
W-6*	・オールケーシング工法 (・揺動式 ・全周回転式) (孔内水張 ・行う ・行わない)		圧縮強度 ―― 圧縮強度が5N/m2 以上であり、かつ、施工中 中の荷重及び外力につい による場合 ―― 以上となるまで の荷重及び外力について、 て、構造計算により安全		普通ボルト、ナット類、アンカーボルト類 外報検査 ※行う ・行わない	6 脱気装置	色 ※標準色・ ※設ける・設けない
	・場所打ち側管コンクリート杭工法 ・拡彦杭工法 (※安定液使用・) 以下の事項は、構造特配仕株書及び構造図による。		構造計算により安全である であることが確認される ことが確認されるまで まで まで		めっき付着量の検査 ※行う ・行わない		種類 材質 設置数量 - 平面部脱気型 ※ 製造所標準仕様(立上がり型) ※ 製造所指定数量 - ステンレス製・フォミ製又はアメミ鋳物 ・ 1 箇所 / 850回に当たり
	(S) の 中央(は、 作品でおいて作品 (A) では、 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	7 ① 鉄骨製作工場	・監督職員の承諾する製作工場	3 1 補強コンクリート ブロック造	※空洞ブロックC(16) ・空洞ブロック(C)16-W ※各部の配筋は、構造特記仕様書及び構造図による。		・立上がり部脱気型 ※ 製造所標準仕様 ※ 製造所標準仕様 ※ 製造所標準 と ・ 1 箇所/約10m間隔
	3)支持地盤の位置及び種類 4) 杭の水平方向の位置ずれ及び傾斜の精度	鉄 骨			7 ※標仕表8.3.1及び下表による。 適 用 箇 所 ブロックの種類 厚さ (mm)	シーリング	下表以外は、標仕表9.7.1による 施工箇所 シーリング材の種類(記号)
⑤ 砂利地業に使用する砂利	5) 孔壁測定の有無及び測定方法 ※再生クラッシャラン・・切込砂利及び切込砕石	事	性能評価基準に定める「Mグレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上 の能力のある工場	リ 帳壁及び塀	類 用 画 別 フロックの怪類 序で(IIII)		接着性試験
6 床下防湿層	施工範囲 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)	2 施工管理技術者		プ コ 3 ALCパネル	※各部の配筋は、構造特配性株書及び構造図による。 <u>ALC/ネルの区分等</u> 種類 単位荷重(N/m2) 厚さ(mm) 構法の種別		※簡易接着性試験 · 引張接着性試験 (施工対象部位)
	防湿工法 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上・	③ 鋼材4 高力ポルト	鋼材の材質、形状及び寸法は、標達特配性標書及び構造図による。 ・ 以下の事項は、構造特配性標書及び構造図による。	7	性 類 単位何里 (N/m2) 序で (IIII) 情点の他別 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0 1 天然石張り	石の種類・表面仕上げ 施工箇所 品質・種類 形状・寸法 厚さ (mm) 仕上げの種類
5 (1) 鉄筋の種類 鉄	種類の記号 呼び径 (mm) ○SD295 ※D16以下		1) ボルトの個分数では、11 ボルトの個分数では、11 ボルトの個分数では、12 オール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カ	A	- 間仕切壁パネル ・80 ・100 ・C種 ・D種 ・E種 *** ******************************	- 1 2 テラゾ張り	種石の種類 ※大理石
筋工事	○SD345	⑤ 普通ボルト	ボルト及びナットの材料等は、構造特配仕様書及び構造図による。	\$ \$	・屋根パネル ・100 ・床パネル ・100 ・ 床パネル ・100		表面仕上げ ※本磨き テラソブロックの形状、仕上げ面及び寸法、並びにテラゾタイルの寸法は、図示による。
2 溶接金網	種類の記号、網目の形状、寸法及び鉄線の径は、構造特記仕様書及び図示による。	6 緑端距離、ボルト間隔 ゲージ等	以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 高力ポルト、普通ポルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ボルト径、ゲージ等		建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 耐火性能 ・有り (・0.5時間 ・2時間)	3 壁の石張り工法	外壁石張り 工法
3 鉄筋の継手 (4) 鉄筋の最小かぶり厚:	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接機手 ・機械式機手 ・重ね継手 き 最小かぶり厚さは自地底から算定する。	⑦ 溶融亜鉛めっき 高力ボルト	セットの種類 ・1種 (F8T) 相当 摩擦面の処理	甲 出 호	パネル幅の最小限度 (mm) ※300 ・ 國宗による パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネル		・外壁湿式工法 (※あと施エアンカー横筋流し工法 /・ ・乾式工法 (・スライド方式 ・ロッキング方式) 石裏面処理 行う ・行わない
シ 素がの数ないかり持	・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 施工箇所 標性表5.3.5の値に加える寸法 (mm)		※ ブラスト処理(表面粗度50 μ mRz以上) ・リン酸処理 摩擦面の確認方法+	2	と他部材との取合い部の目地幅 (mm) ※20 ・図示による		裏打ち処理 ・行う 「行わない ドレインパイプ ※樹脂ネット製パイプ (クロスメッシュ巻き) ・ステンレスSUS304
	柱、梁、璧及び庇などの外気に接する打放し面 ※10	⑧ アンカーボルト	・ 図示 - 試験片によるすべり耐力試験 : 以下の事項は、構造特配仕様書及び構造図による。		伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない ※20 ・図示による		内壁石張り 工法 ・内壁空積工法 (※あと施工アンカー積筋流し工法 ・あと施工アンカー工法)
5 機械式継手	適用箇所、性能、種類、工法、品質の確認方法及び不良となった継手の修正方法等は図示による。	ツ / ノルーボルト	1) ポルトの材質・種類、ねじの公差域クラス、仕上げの程度、縁短距離、ポルト間隔、ゲージ等 2) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法	ト 反 4 押出成形セメント板 L (ECP)	種類 表面形状 厚さ (mm) ロッケケール充てん 取付工法・種別 備 考 ※F ・50 ・60 ・有 ・無 ・A種		・乾式工法 (・スライド方式 ・ロッキング方式)石裏面処理 ・行う ・行わない
⑥ 各部配筋	※構造特記仕様書及び構造図による。 ・各部配筋参考図による。	0 =+ -71	3)建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法	F	・外壁パネル ・D ・50 ・60 ・有・無 ・B種 ・T ・60 ・有・無	4 床及び階段の石張り	裏打ち処理・行う・行わない 株工研Uの選挙が新ったに対した行う
		9 デッキプレート	以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。 1) 工法の種別 2) デッキフレートの材質、形状及び寸法		**F ・B種 ・C種 ・C種 ・T	・ 体及い階段の右張り	ま石張りの浸透性吸水防止剤 ・行う
			3) 鉄骨部材への溶接方法 4) 耐火認定の有無		建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 日地幅:パネル相互(※長辺8、短辺15 ・図示)		 東石張りの裏打ち処理 ・行う
		10 工作図	増築工事等を含め、既存建築物と取合う箇所がある場合は、現場実測の上作成を行う。		出環及び入隅のバネル接合目地(※15mm ・ 図示) バネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・		
		11 鉄骨の仮組	 行わない ・ 行う 仮組を行う範囲及び確認方法等は、図示による。 				
				χ			
				<u> </u>	設計年月日	工事名称	京道書号
朝日町	」 丁 建設課					図面名称	泊駅南公園 遊具上屋 建築工事
							建築特記仕様書 その2

11 1 タイルの形状、寸法等	形状寸法 再生材の (mm) 吸水性による区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐清 1 類	14 1 あと施工アンカー 金	引抜き耐力試験 ※適用する ・適用しない	16 1 見本の製作等 建	・ 建具見本の製作 (建具番号:) ・ 特殊な建具の仮組(建具番号:)	16 ガラス用フィルム	種類 記号 日射調整 張り面 性能値 ・衝撃破壊対応対応が、3.飛散防止フィルム ・GI-1 ・あり(・SC-1-A ・SC-1-B ※内張り
イルエ事	役物:標準的な曲がりの役物は一体成形とする タイルの見本焼き ※行わない ・行う (※外壁タイル・)	属 2 アルミニウム及び エ アルミニウム合金の 事 表面処理	種 別 色 合 い 施 工 箇 所 - AB-1種 無着色 - AB-2種 ・ブラウン系 - ステッカラー	具 エ 事 2 アルミニウム製	※防火戸の指定及び防犯建物部品の適用は、建具表による。 建具 外部に面する建具の性能値等 程別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ 建具表による 枠見込み (mm) ※建具表による (・ mm)		- 帰間変位破壊対応が 73飛鞍防止2:44
	タイルの見本規ぎ ※行わない ・行う (※外壁タイル ・) モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ※MCRI法 ・目荒し工法 (高圧洗浄)	3 鉄鋼の亜鉛めっき	・		防害ドアセット、断熱ドアセット、耐震ドアセットの適用及び等級は、建具表による。 結露水の処理方法、水切り板、ぜん板等 ※図示 表面処理		品質 JIS A5759による
によるタイル張り	型タイル張りの工法 外装タイル 小密券獲り ・改良種上げ張り ・改良日着張り 内装タイル 内装タイル 内装タイル 内装タイル 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・既製調合モルタル・モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、 セメンド、細骨材、混和刺等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。		・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種		施工箇所 種 別 色 合 い 等 外部建具 無着色 ・ 8B-2種 ・ # # # # # # # # # # # # # # # # # #	17 1 取付方法、性能等 カ ー テ ン ウ	耐震性、水密性、気密性、耐火性、耐温度差性、遮音性、断熱性等は図示による 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 層間度位退役性 建物の構造種別 層間変位量 (h=支点間距離) 変位後の状態 S遺 ・±(1/200)×h以上 ・
3 有機系接着剤による タイル張り	外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング村 打継ぎ目地 ※ボリウレタン系シーリング ひび割れ誘発目地 ※ボリウレタン系シーリング	4 軽量鉄骨天井下地	屋外の場合の形式及び寸法 ※下表以外は、標仕14/4.3及び標仕表14.4.2による 下地材の関係 (mm) 施 エ 笛 所 野緑炭、吊りボタト、ℓ/キ/ト 野 緑	3 網戸	・	オ ル 2 メタルカーテン エ ウォール	RC及USRC造 ・± (1/300) × h以上 シーリングは補修程度の損傷であること。 カーテンウォール材料の種類 規 格 等 現 格 等
	伸縮調整目地 ※変成シリコーン系シーリング その他の目地 ※変成シリコーン系シーリング モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧洗浄)		中央部 周辺部 対 (4 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	4 樹脂製建具	外部に面する建具の性能値等 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・建具表による 枠見込み(mm) ※建具表による (・ mm)	事	※アルミニウム製 ※様仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による ・カーテンウォール方式 ・方立方式
12 1 製材 木 工 東	- 「製材の日本農林規格」による製材 - 「製材の日本農林規格」による製材 - 「財用財産機製材 - 「大地用財産機製材 - ※4種 - ・ ※4種 - ・ ・ ※4種 - ・ ・ ※4種 - ・ ・ ※4種 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		に対応した工法 天井下地材における耐震性・耐風圧を考慮した補強 ・行う (補強箇所 ※図示) 天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強 ※標性14.4.4(8)(7)及び(イ)による ・図示 天井のふところが3.mを超える場合の補強 ※図示	5 銅製建具	防音ドアセット、断熱ドアセット、耐震ドアセットの適用及び等級は、 競震水の処理方法、水切り板、ぜん板等 ※図示 表面色 ※ 標準色 ・ 特注色 (簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による		・パックマリオン方式 (・単純2辺支持構法 ・SSG構法) ・スパンドレル方式 ・パネル方式 ・パネル方式 ・小型パネル組み合わせ方式 (・ノックダウン方式 ・ユニット方式) シーリング材及びガラス取付け材料
4	・盗作用針葉樹製材 ※1種・D種・広葉樹製材 ・広葉樹製材 ※1等・ ・「製材の日本農林規格」以外の製材	5 金属成形板張り(天井)	※アルミニウム製 形 状 製 法 板幅 (mm) 寸法 (mm) 厚さ (mm) 表面処理 ・ スパンドレル形・押出し	0 網袋進具	関系気配型トアセットの圧能の週刊は建長表による 外部に面する建具の耐風圧性 (・S - 4 ・S - 5 ・S - 6) 類板類の厚さ (1枚の戸の有効開口幅950mm、又は 有効高さ2.400mmを越える場合) 類板		ンーリング材及のガラム収付「材料 下表以外は標仕表9.7.1による 施工箇所 シーリング材の種類(配号)
	施工箇所 樹種 寸法 材面の品質 防虫処理 麹燃処理 含水率 ・代用樹種を適用しない箇所(※A種 ・B種		- ロール ・パネル形 ※ブレス ・パネル形 ・ ブラッ系 - ステンカテー) - AC-1種		材料 メッキ付着量 厚さ - JIS 6 3302 (溶融を鉛めっき鋼板) ※Z1/2又はF12 ・ - JIS 6 3317 (溶融を鉛-5%アルミ ※Y08 ・ - ウム合金かっき鋼板		構造ガスケット ※適用しない ・適用する (施工箇所:)) 断熱材 ※適用しない
2 造作用集成材	達作用集成材、化粧ばり造作用集成材、化粧ばり構造用集成柱 施工箇所		- Mc-7種(・アンパー ・ AC-2種(・アンパー ・ ア ロッス'・ フ' ラック系 ・ ボアンカテー) ・ C種		- アルロニョのプロ・MRM		※週のじない ・ 過用する (種類、厚さ、施工箇所は、図示による) 製品の寸法許容差 ※標仕表17.2.1による ・製造所標準製作規定寸法許容差による アルミニウムの表面処理 種 別 色合い等
3 造作用単板積層材 4 直交集成板	施工箇所 厚さ 寸法 表面の品質 防虫処理 ・化粧加工(・天然木・塗装)・する ・しない CLT 施工箇所 品名 曲げ強度 種別 接着性能 樹種 寸法 間伐材等	6 轻量鉄骨壁下地	取付用下地 ※標準仕様書による ・設ける(施工箇所は図示) 伸縮調整継手 ※設けない ・設ける(施工箇所は図示) 種類 ・50型 ・65型 ・90型 ・100型 スタットの高さが5mを超える場合 ※図示	6 銅製軽量建具	簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による 類核 ※ 亜鉛めっき類板 ・ ピニル被膜類板 ・ カラー鋼板 類板の厚さ ・ 穏仕表16.5.1による。 召合せ、縦小口息み板の材質 ※類板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合金	3 PCカーテンウォール	・AB-1種 ・BB-1種 無着色 ・AB-2種 ・BB-2種 ※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ・着色塗膜 塗装材料()) 焼付け方法()) ベーク
5 合板等	(強度等級) (mm) の適用 普通合板、構造用合板、化粧ばり構造用合板、天然木化粧板、特殊加工化粧板、構造用パネル 種類 施工節所 厚さ 接着の 単板の 板面の品質 等級	7 アルミニウム製笠木	オープン形式アルミニウム製笠木の種類 乗動処理及び色合い 固定開陽・方法 ・100形 1.5以上 種別(雑奏業準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の(・1 ・1.15 ・1.3) ・250形 1.8以上 ・7゚ロンス* ・7゚ラック系 他の風圧力及び積雪荷重に対応した	7 ステンレス製建			 ※標仕17.3.2による 下表による。ただし下表以外は標仕17.3.2による。 コンクリートの種類 数計基準強度/(Fc) 所要スランプ (cm)
			1.0回上 1.0回上 1.70カー 1.0回上 1.70カー 1.0回上 1.0回上 1.0回上 1.70カー 1.0回上 1.0回上	8 木製建具	フラッシュ戸の表面材の種類		鉄筋 ※SD295A (・D13 ・D10) ・ 補酸鉄線の径 (mn) ※3.2 ・ 配筋 ※図示 取付け用金物の表面処理 (鉄の亜鉛めっき) 及び材質
	・	15 1 モルタル塗り材料 左 官 2 床コンクリートの	既製目地材の適用 ※図示 下表以外は標仕表6.2.5及び標仕15.3.2による		緑仕上 ・塗練 ・生地線 (・素地 ・ウレタンクリア塗装) 枠の材料 ※ 木製 ・類製 散すりの材料 ・ 木製 が ステンレス製 防虫処理 ・行う		下表以外はカーテンウォール製作所の仕様による 金物種類及び部位 内部 外部 PC版打込み金物 ※E種 ※A種・ ※ステンレスポルト
6 接合具等	連作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物 ※図示 ・	エ 直均し仕上げ 事	施 工 箇 所 平たんさ (mm) 債 考 7リーアやた2707 (支柱調整式) 範囲 1mにつき10以下	9 建具用金物	建具用金物は、下記以外については、建具表による。 マスターキー ※製作する ・製作しない その他の鍵 ※各室3本1組 ・ 鍵箱 ※有り ・無し		2次ファスナー ※E種 ※ A種 取付けポルト ※E種 ※ A種 レベル調整ポルト ※E種 ※ A種
	接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外	3 セルフレベリング材 4 ロックウール付け	・せっこう系 ・セメント系 厚さ mm	10 自動ドア開閉装	■ 自動ドアの開閉機構 ※スライデイングドア・スイングドア		シーリング材料 下表以外は標仕表9.7.11づよる 施工箇所 シーリング材の種類(配号)
8 防腐・防蟻	・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 適用部位 () ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 () 保存処理性能区分 (・K2 ・K3 ・K4) ・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部位 () ・ボード原料接着材への薬剤混入による防腐、防蝎処理 適用部位 ()	5 仕上塗材仕上げ	種類 呼び名 伏上げの形状等 ・ 薄付け仕上塗材 ・ 外装薄塗材 S i ・ ゆず肌状 (・ 吹付け・ローラー塗り) ・ 小装薄塗材 E ・ ・ 企凹炊 (・ 吹付け・ こて塗り)	11 重量シャッター	自動ドアの開閉方式、質量、センサーの種類については、建具表による。 連結防止措置 ※行わない ・行う () 外部に面するシャッターの耐風圧強度 耐風圧性能 () N/m2 開閉機能 ※上部電動式 (手動併用) ・上部干動式 防炎シャッター、及び防煙シャッターには、危害防止機構を設ける。		カーテンウォール板間目地 耐火目地材 ※適用しない ・適用する(種類、施工箇所は図示による。) ・適用する(種類、施工箇所は図示による。) ・適用する(種類、厚さ、施工箇所は図示による。)
13 1 長尺金属板葺 屋 根	歴程賞形式 長尺金属板の種類 板厚 (mm) ・ 心木なし瓦棒費 ・立平葺 ※塗装ステンレス鋼板		- 防水形外装薄塗材E - 第急骨材砂壁状 (・吹付け ・こて塗り) - が壁状じゅらく - 内装薄塗材 C - 内装薄塗材 L - ・ 原壁状じゅらく - 内装薄塗材 L - ・	12 軽量シャッター	シャッターゲース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケースのめっき付着量 ※Z12又はF12 ・ 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用)		製品の寸法許容差による・製造所標準製作規定寸法許容差による表面仕上げ (
	下蓋材料 (・ 7,37)計ト-7:/グ 940 ・ 改質7,37)計ト-7:/グ 下蓋材) 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 構養きの場合のけらば納め ・つかみ込み納め ・けらば包み納め		- 内装薄塗材 S: - 内装薄塗材 S: - 内装薄塗材 E: - 内装薄塗材 E: - 内装薄塗材 E: - 内装薄塗材 E: - 内装薄塗材 C:		外部に面するシャッターの耐風圧強度 耐風圧性能() N/m2 スラット 厚さ (mm) ・0.5 ※0.8 ・1.0 形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形		
工 2 折板葦	形式 ・重ね形 ※はぜ締め形 ・かん合形 形状(mm) 山高() 山ビッチ() 坂厚※0.6 ・0.8 材料 ※塗装溶器55967減に力4-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯() ・ 野先面戸板 ※有り ・無し		・ 外装厚塗材 S ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	13 オーバーヘッド	ドア		
	断熱材 ※有り(種別: 厚さ: mm)・無し 耐火性能 ※30分耐火・無し ・ ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 対応した工法 ・ ・ ・ ・ 1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 ・ ・ ・ ・ 雪上め・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ と ・ ・ と ・ ・ と ・ ・ ・ と ・ ・ と ・ </td <td></td> <td>・ 内装厚塗材 S i / 内装厚塗材 E ・ 検帯仕上塗材 ・ 可とう影様層塗材 C E ・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 ・ 複層塗材 S i ・ 複層塗材 E 耐候性 ・ 1種 ・ 2種 ※ 3種</td> <td>14 ガラス</td> <td>耐風圧性能 () N/m2 がラスの種類、品質、厚さ等は、建具表による ガラスの動材 建具の種類 材 種</td> <td></td> <td></td>		・ 内装厚塗材 S i / 内装厚塗材 E ・ 検帯仕上塗材 ・ 可とう影様層塗材 C E ・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 ・ 複層塗材 S i ・ 複層塗材 E 耐候性 ・ 1種 ・ 2種 ※ 3種	14 ガラス	耐風圧性能 () N/m2 がラスの種類、品質、厚さ等は、建具表による ガラスの動材 建具の種類 材 種		
3 粘土瓦葺	形状による区分 寸法による区分 製法による区分 債 考 ※JB ※53A ・ゆう葉がわら 色調() ・S形 ・49A ・49B ・いぶしがわら		- 複層塗材RE 上塗材 - 防水形複層塗材CE - 防水形複層塗材E 機脂 ※アクリル系 ・ポリウレタン系 ・防水形複層塗材E (透湿 外観 ※つやあり ・つやなし		アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガスケット (FIX 部はシーリング材) 鋼製及び軽量鋼製 ステンレス製 ※シーリング材 規節製 ※シーリング材 ・ガスケット		
	F形 ・40 ・無ゆうがわら 役物瓦 (図示) 建築基準法に基づき定定する風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 JIS 5208に基づく 凍害試験等様 ・行う ※保質着色塩化ビール管 (・VP ・RF-VP)・配管用鋼管 ・行わない		型) ・防水形模層塗材RE 防水形模層塗材RE (透湿型)を使用する場合 の所要量 ・ 水イカー推奨途布量による ・ 軽量像材仕上塗材 ・ 吹付用軽量塗材 砂壁状		ただし、防火戸は練業基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による 扱力ラスをはめ込む溝の大きさ ※建具製造所の仕様による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が 確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。 熱級反射ガラスの機会調整、※行わない ・行う(建具表による)		
	・表面処理綱板 規格 () 裏表の塗膜の種類 () ・SGL鋼板		- こて塗用軽量塗材 平たん状 防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。 - 高耐候性 砂壁状意匠性塗材	15 ガラスブロック	様み ガラスブロック 寸法 (mn) 呼び寸法 厚さ 色 調 平積み 曲面積み 防火性能等		
					・ ※クリア ※8-15 外側 () ※無し) 仲総調整目地 (mm) ※6m以下ごとに10~25 図示 壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状及び材質等 ※図示) ・設けない 化軽目地モルタルの色 ※モルタル色 接致基準法に基づを支まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 値の風圧力に対応した工法シーリング材の種類 (・SR-1 ・PS-1)		
朝日町	建設課				設計年月日	工事名称 図面名称	泊駅南公園 遊具上屋 建築工事
							建築特記仕様書 その3

18 塗 ① 材料	※膜構造建築物 設計概要書による。 防火材料 ※屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。		複合フローリング 日本 名	7 黒板及び	種 類 寸法 (mm) 備 考	2	24 耐震スリット	方向 タイプ 耐火性能 防水性能 ・垂直方向 ※完全(全貫通型)スリット ・耐火型 ・有り	
装	・次の箇所を除き、防火材料とする。(箇所:		T	ホワイトボード	- 黒板 ※焼付け ※平面・曲面・スクリーン付引分			- 垂直方向 ※完全(全貫通型)スリット ・耐火型 ・ 有り ・ 非耐火型 ・ 無し	
エ 事 2 素地ごしらえ	下地面等 種別		フローリング (根太張り) ※C種 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・ホワイトボード ※ほうろう ※平面 ・曲面 ・スウリーン付引分			目 地 内壁 (幅×深さ) 外壁 (幅×深さ)	
争 2 糸地こしらん	本部 不透明塗料塗りの場合 ※A種・B種		・釘どめ工法 ・A種 ・B種 標仕表19.5.4による ※なら ・防湿処理有 (直張り) ※C種 ・防湿処理無		- ホワイトホート 次は ブラウ			日地村 シーリング材(見え掛かりのみ) ・シーリング材(見え掛かりのみ)	
			・接着工法 ・A種 ・B種 標仕表19.5.6による ※なら					・シーリング材 (内外とも)/	
	鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ※ C種 亜鉛めっき面 ・ A種 ・ B種			8 表示	・衝突防止表示 ※図示による ・SUS製 径30mm			目地寸法 (mm) ※20×10 ※20×10 ※20×10	
	モルタル面、プラスター面 ・A種 ※B種	8 畳敷き	畳の種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (畳床の記号 ・)		・法令に基づく表示(非常用進入口等) ※消防法に適合する市販品による	2	25 止水板	形 状 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施行箇所 ※図示	
	コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面 ・A種 ※B種 押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP) ・A種 ・B種	9 ポリスチレンフォーム	畳下地 厚さ (mm) ※40 ・65 ・80		・室名札、ピクトグラフ、案内板等 ※図示による			施打圖別 次因水	
	せっこうボード面及び 目地:継ぎ目処理工法 ※A種・B種 その他ボード面 目地:継ぎ目処理工法以外・A種 ※B種	床下地材	フローリング類 厚さ (mm) ※80 ・95	9 タラップ	・ステンレス製 SUS304	2	26 敷地境界石標	※コンクリートブロック製の市販品程度 ・かこう岩(文字記号等入り)	
	その他ボード面 目地:継ぎ目処理工法以外 ・A種 ※B種	10 せっこうボードその他	種類 JISの記号 厚さ (mm) 、規格等		表面処理 ※研磨なし ・HL ・鋼製	2	27 旗竿	材 質 ※アルミニウム合金製	
3 錆止め塗料塗り	<u> </u>	のボード張り	・硬質木毛セメント板 HW ・15 ・20 ・25		表面処理 溶融亜鉛メッキ 種別()種			形 式 ※テーパー型・同一断面型	
	下地面 塗装の種類 錆止め塗料の種別 錆止め塗料塗りの工程 会は利売 SOP A種 見え掛り: A種 見え隠れ: B種		<u>・普通木毛セメント板</u> NW ・15 ・20 ・25 ・ミディアムデンジティファイバ - * * - ト' MDF ・	10 煙突ライニング	適用安全使用温度 ※400°C ・650°C			地上高さ (m) ・6 ・8 ・10 ・12 ・ 操作方法 ※ハンドル式 ・ローブ式	
	DP C種及びD種 表18.3.4		・パーティクルボード・	==	7/ # 19/h++//## 7= 11 0449 7= 11 045 ()			固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・パンド式	
	EP-G ・A種 ※B種 見え掛り: A種 見え隠れ: B種 亜鉛めっき面 SOP ※A種 ・B種 鋼製建具等: A種 左記以外: B種		・けい酸カルシウム板	11 ブラインド	形 式 操作方法/種類 スラットの材質 ズラットの幅 (mm) ※横型 ※ギア式 ・コード式 ※アルミニウム合金製 ※25			受金物 材 種 ステンレス製SUS304	
	DP B種 表18.3.6		・ロックウール化粧吸音板		- 操作棒式	2	28 フェンス	· 耐雪型 · 一般型	
	EP-G C種 鋼製建具等:A種 左記以外:B種		・世っこうボード GB-R /9.5 ·12.5(不燃) ·15.0(不燃)		・電動 ・ ・縦型 ・1本操作コード ・アルミスラット /・80			・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス・アルミフェンス	
4 塗装	塗装の種類 種 別 塗料の種類		・不燃積層せっこうボード GB-NC /-9.5(不燃) 化粧無 (下地張り用)		※2本操作コード・クロススラット /・100				
	・合成樹脂調合へかト塗り 木部屋外 ※ A種 ・ B種 ※1種 ・ 2種 (SOP) 木部屋内 ・ A種 ※B種 ※1種 ・ 2種				· 電助 ·	2	29 屋外掲示板	照明器具(※有り ・無し) 施錠(/※有り ・無し)	
	鉄鋼面 ・A種 ※B種 ※1種 ・2種		<u>・強化せっこうボード GB-F ※12.5 (不燃)・15.0 (不燃)</u>	12 ブラインドボックス	材料	3	30 車止め支柱	・ステンレス製 (上下式鎖内蔵型、反射デーブ付き、φ114.3mm、 t2.5mm、 H=GL+700mm)	
	亜鉛めっき鋼面 ―― ※1種・2種 ・クリヤラッカー塗り(CL) ・A種 ※B種		・化粧せっこうボード GB-D' ・9.5 ・12.5 (不燃) 幅440mm程度、専用下地付 模様 ※トラパーチン ・木柾目 ・木板目	及びカーテンボックス	・集成材(仕上げ: ・アルミニウム製 押出し型材(市販品)			※スプリング付 ・ズブリング無し ・図示	
	<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td><td>- メラミン樹脂化粧板 JIS K6903による 厚さ1.2</td><td></td><td>種別・BB-1 ・BB-2 (色合い:・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) ・図示</td><td></td><td>31 EXP. J金物</td><td>※パリアフリー対応 材質 クパアランス 耐火性能 備考</td></td>	<td></td> <td>- メラミン樹脂化粧板 JIS K6903による 厚さ1.2</td> <td></td> <td>種別・BB-1 ・BB-2 (色合い:・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) ・図示</td> <td></td> <td>31 EXP. J金物</td> <td>※パリアフリー対応 材質 クパアランス 耐火性能 備考</td>		- メラミン樹脂化粧板 JIS K6903による 厚さ1.2		種別・BB-1 ・BB-2 (色合い:・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) ・図示		31 EXP. J金物	※パリアフリー対応 材質 クパアランス 耐火性能 備考
	・耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面 ー 上塗り等級()級 亜鉛めっき鋼面 ー 上塗り等級()級			- 難燃合板		溝幅×深さ (mm)		DI EAF. J並初	** アルミニウム製 ・50 ・100 ※有り()
	コンケリート面及び押出成形をゲント板面 ・ A種 ・ B種 上塗り等級()級		・ 展量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・適用しない		使用区分 溝幅×深さ (mm) ・横形プラインド ※ 120×150 /・90×150 ・			_・ステンレス製 ・150 ・無し	
	- ・ つや有合成樹脂IT/I/ション コンケリート面、せっこうボード面等 ・ A種 ※B種		軽重数背下地ボート返音壁の返音シール材 水道用する ・適用しない 世っこうボードの目地 大法等		・検形プラインド ※ 120×130・90×130・ ・縦形プラインド ※ 120×80・150×80・	3	32 鋼製書架及び物品棚	種 類 規格等 JISによる種類 備 考	
	^¹(ント塗り(EP-G) 屋内の鉄鋼面 ・A種 ※B種 ― ・合成樹脂エマルションペイント塗り(FP) ・A種 ※B種 ―		目地工法の種類 機目処理工法 ・突付け工法 ・目透し工法 エッジの種類 ・テーパーエッジ ・ベベルエッジ ・スクェアエッジ		・カーテン (又はレース共) ※ 150×80 ・ 180×80 ・ 190×150			・鋼製書架 JTS S1039の規格による ・1種 ・2種 ・3種	
	・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) ・A種 ※B種 ・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ・A種 ※B種		エッジの種類 /・テーパーエッジ ・ベベルエッジ ・スクェアエッジ		・カーテン+横形プラインド ※ 180×150			- 銅製物品棚 - 4種 ・5種 ・6種 ※形状、寸法は図示による	
	・ステイン塗り (・ピグメントステイン塗り ・オイルステン塗り(OS)) - ★郵保護漁料漁 LI (WP) (屋外に限る)	11 吸音板張り	種類 記号 厚さ (mm) - ロックウナル吸音ボード 1号 RW-B ※25	12 8 11 7 6 11 3	温化士注 フカリーンの落結 口効体		00 →1.+ c→ t	- 2. A. I. A. M. A. M. W.	
	CL塗りA種の工程2の適用 ・適用する(・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤) ・適用しない		・ロックウー/ル吸音ボード1号 RW-B ※25 ※グラスヴール吸音ボード2号32K GW-B ※25	13 ロールスクリーン	操作方法 スクリーンの種類 品質等 ・ブルコード式 (ストッパー付) ・無地		33 プレキャスト コンクリート	コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量最小値300kg/m3を満足する調合強度	
	UC塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステイン塗りの工程等 ()				・ワンタッチチェーン式 ・チェーン式 ・選光タイプ			・図示 / 配筋及砂取付方法	
		12 壁紙張り	壁紙の種類		- 電動式			※図示	
19 1 ビニル床シート張り	種類 厚 ^さ 色柄 備考		施工箇所 機裁 機雑 プラステック 無機 その 防火性能の級別 備 考 賞製 他	14 カーテン及び	以下の事項は、図示による。	3	34 間知石及びコンクリート		
装	※FS ※2.0 ※無地 ・マーブル柄 ・柄物		※不燃・準不燃・難燃	カーテンレール	・施工箇所、形式、開閉操作方式		間知ブロック積み	質量区分 ・A ・B	
事	・		※不燃 · 準不燃 · 難燃 ※不燃 · 準不燃 · 難燃		・きれ地の種別、品質、特殊加工等 ・ひだの種類		/	積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ※図示 ・伸縮目地(材種: 厚さ:)	
	工法 ※熱溶接工法 ・突付け (施工箇所:)	/ /	断熱材は、JIS A 9521、JIS A 9526によるものとする。	15 12 15 7	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		35 鏡		
		13 断熱材		15 ピクチャーレール	レール 材 質 ・アルミニウム製 (シルバー) 形 式 先付け天井埋込型 (見切縁兼用)	ľ	55 SR	取付箇所、寸法及び取付方法 ※図示	
2 ビニル床タイル張り	種類の名称 記号 色柄 厚さ 寸法 (mm) (mm) / 備 考		種類		ランナー 材 質 本体:真鍮性 フック:ステンレス製(可動式) 耐荷重 25kg程度/個			厚さ (mm)	
	※3ンポジションピ=ル床ウイル〔接着形〕 K T ・無地 ※ 2.0 ・300×300		・押出法ポリスチレンフォーム断熱材・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		個数 2個/レール1m	3	36 誘導用	視覚障害者用タイル	
	・単層ピニル床ウイル [接着形] T T ・複層ピニル床ウイル [接着形] F T - 柄物 - 450×450 - 500×500		(スキンなし)	16 天井点検口			注意喚起用床材	適用箇所 種類 寸法 (mm) 厚さ 色彩 屋内 ・塩化ビニル系 ※300×300 ・7 ※黄色	
	・置敷きビニル床タイル [置敷形] FOA		・硬質ウレタンフォーム断熱材・・・・	7777.88.54	額線タイプ 下記以外全て ・ 450×450			・磁器又はせっ器タイル ・ ・ ・	
	- 薄形置敷きピニル床タイル〔置敷形〕 FOB		- フェノールフォーム断熱材 (3種2号除く)		目地タイプ ※図示 ・ 600×600 ・ 大井仕上げ材がDRの範囲 ・ 600×600 ・			屋 外 ・コンクリート系 ※黄色 ・レジンコンクリート系 ※300×300 ・	
	特殊機能(・帯電防止・耐動荷重性・防滑性・耐薬品性)		・現場発泡断熱材 ・ ・ ・	17 床点検口		<i>X</i>		・磁器又はせっ器タイル ・	
3 帯電防止床材張り	・帯電防止性能評価値 (JIS A1455) 1.2以上~3.2未満、		· · · · ·	1/ 床品快口	材質			形状 ※プロックパターンはJIS T9251による	
	または、体積電気抵抗値 (JIS A1454) 1.0X10^7~10^10Ω程度	20 1 フリーアクセスフロア	# F+t# # FU #		・ ステンレス製	\leftarrow			
4 ビニル幅木	高さ (mm) ※60 ・75 ・100	1 77 77 27 27	施工箇所 構 法 仕上寸法 仕上り高 許容水平力 耐荷重性能 表面仕上げ材			21	1 排水管	排水管用材料	
5 カーペット敷き	防炎性能は、消防法で定める防炎性能を有し、登録されているものとする。	=	- 置敷式 - 500×500 - 1.0G - 3,000N - 帯電防止床ダイル - 支柱 - 0.6G - 5,000N - タイルカーペット	18 収納家具、 書架・物品棚		排水		材種	
	・織じゅうたん		調整式		<u> </u>	Ī		・硬質ポリ塩化ビニル管 ※VP ・VU ・RF-VP ・RS-VU 接着接合	
	種 別 織り方 パイル形状 帯電性 色 柄 - ・ A種 ・ ウィルトンカー^゚ット ・ カットパイル 人体帯電圧 ※単一色 (無地)	び	- 置敷式 - 500×500 - 1.0G - 3,000N - 帯電防止床タイル - 支柱 - 0.6G - 5,000N - ダイルカーペット		- 書架 / ・ 鋼製 JIS S 1039 (書架物品棚) による種類 - 物品棚 - ・ 3種)	事		基床の厚さ及び種類 ※図示 ・ 地業に用いる材料 ※標仕(21.2.1)(7)(7)及び(4) ・図示	
	・B種 ・ダプルフェースカーペット ・ルーブパイル ※3 kv以下 ・柄物(標準品) ・C種 ・アキスミンスターカーペット ・カット、ルーブ併用 ・	₹ 0	調整式 寸法精度 ※ 標性20.2.2(2)(t)(a)~(c)による		物品棚 (・5種 ・6種 ・7種) ・移動式 ・図示		2 側塊、排水桝等	形状及び寸法 ※図示・・	
	- C程 ・ / + バスフムケーカー ヘ ケト ・ ガジ ト 、 ルー フザ H ・ ・	他	スローブ及びボーダー ※製造所の標準仕様 (ただし、構成材は共仕による) ・図示		書架・物品棚 ・		2 则塔、挤小件等	地 集に用いる材料 ※標仕(21.2.1)(7)(7)及び(4) 図示	
	・タフテッドカーペット パイル形状 パイル長 (mm) 工 法 帯電性	エ 事	コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) コンセントの箇所数 ※10~15m に 1 箇所程度		※形状、ず法は図示による		3 ふた	鋳鉄製ふた	
	・カットパイル ※5~7 ※全面接着工法 人体帯電圧	7	配線取出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20~30%	19 くつふきマット	材質(受枠共)、形状、寸法は図示による		0 3.72	種類 適用荷重 鍵/ 備 考	
	・マルチレベルループ ※4~6/・・・・グリッパー工法 ※3kv以下・・レベルループパイル ※4/		※配線取り出し開口: 40mm X 80mm 程度の開口 空調用吹き出しパネル ※無し ・有り(※固定式 ・可変式 :施工箇所は図示)	20 流し台ユニット	種類 寸法 (L= mm) 適用内容 規格・品質等			・水封形 ・T - 2 用 ・有が 左記以外の品質等は(公社) ・簡易密閉形 (パッキン式) ・T - 6 用 ・無し 空気調和衛生工学会	
	・カット、ループ併用・				・流し台 ※1200 ・1500 ・1800 トラップ付き ※優良住宅部品			・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・T - 2 O 用 SHASE-S209による	
	・タイルカーペット	2 可動間仕切	構造形式、構成基材、パネル表面仕上げ、パネル内建具形状については、建具表による。 連音性能(db/500Hz)		天板ステンレス製 (セウショナルキッチン I 型) (セクショナルキッチン I 型) (セクショナルキッチン I 型) ・ ※600 ・700 ・ ※64り ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			・中ふた付密閉形	
	種別 パイル形状 敷き方 施工箇所 平場 階段部分		・0 ・12 ・20 ・28 ・36 ホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512により F/☆☆☆☆		天板ステンレス製 ※市販品 ※1200 ・900 ・600			グレーチングふた	
	※第一種 ※ループパイル				/ ・水切り棚 ※1200 ・900 ステンレス製 ※ 1 段式			材 質 形 式 種 類 適用荷重 ジバービッテ 亜鉛めつき 上面形状	
	・第二種 ・ガットパイル 見切金物及び押さえ金物の材質、種類及び形状は、図示による。	3 移動間仕切	構造形式、操作方法、パネル表面材及び仕上げ、厚さについては、建具表による。 連音性能 (db/500Hz)	/	その他寸法 (D及びH) は、図示による			・鋼製 ※受枠付き ・溝ふた用 ・歩行用 ※細目 ・ ※平形 ・ステンレス製 ・桝ふた用 ・T-2用 ※普通目 ・ ※凹凸形	
			· 36未満 · 36以上	21 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製			ボルト固定 ・かざ上げ用 ・Tー 6用	
6 合成樹脂塗り床	性別		ハンガーレールの取付け下地補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように		表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り			※無し ・ グ字溝用 ・ T — 1 4 用 ・ 図示 ・ T — 2 0 用	
	弾性 プレタン樹脂系塗床 ・つや消し仕上げ		補強する。	22 洗面カウンター/	材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ・人工大理石(仕様は図示)				
	・エボキシ樹脂系塗床 ※薄膜流し展べ仕上げ (・平滑 ・防滑) ・厚膜流し展べ仕上げ (・平滑 ・防滑)		ドアクローザー、丁香、錠前、上げ落し ※標仕 16章 8節 の建具用金物に対応する材質 ・図示		奥行き (mm) ・約450 ・約600		4 街きょ、縁石、側溝	・縁石 ・L型側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた 形状及び寸法 ※図示 ・	
	− 樹脂モルタル仕上げ (・平滑 ・防滑)	4 トイレブース	パネル表面材、金紡(脚部、ドアエッジ、笠木形状)については、建具表による。	23 防煙垂れ壁/	・固定式			地業に用いる材料 / ※標仕(21.2.1)(7)(7)及び(4) ・ 図示	
	・ 薄膜型塗床材 ・ アクリル樹脂塗床 塗布量 (kg/m²) (※0.25kg/m²以上・)		ホルムアルデヒ 个放散量 JIS A 6512により F ☆☆☆☆		材質 厚さ (mm) 高さ (mm) 備 考			砂利地業の厚さ ※100 (mm) · 図示	
	(JIS K5970) 表面仕上げ (※ 平滑 ・ 防滑) 溶剤 (※ 水性 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系)	5 階段滑止め	材 種 ステンレスSUS304 形 状 ビニルタイヤ入り		・線入り磨板ガラス ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		5 材料	コンクリート基礎等に用いる材料 ※標仕(6.14)、設計基準強度18N/mm2とする。 ただし、コンクリートが簡易な場合の調合(容積比)	
	位上色(※標準色・・・)				種類 材質 高さ (mm) 備考			セメント1:砂2:砂利4程度とする。	
7 フローリング張り	単層フローリング		幅 (mm) 約35 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法		・垂直降下式 不燃布 ※500 ガイドレール (巻取り型) (不燃認定品) ・800 ※固定式(壁埋込型)			・図示 埋戻し土 ※B種 ・図示	
	品名 工法 厚さ(mm) 大きさ(mm) 樹種 仕上塗装等	6 手すり	手すり ・ステンレス製 SUS304	/	・ 可動式 (天井収納型)			/	
	・フローリングボード ・釘どめ工法 15 板幅:75以上 ※なら ・塗装品 1等 板長さ:400以上 ・ひのき ・無塗装品		表面処理 ・屋内(※HL・・) ・屋外(・) ・鋼製		・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500 表面仕上げ ・800 ※天井材張り				
	・釘どめ工法 12以上		表面処理 溶融亜鉛めっき 種別()種	/	降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)				
	(直張り) 接着工法 8以上		・アルミ製 表面処理 種別 ()種 色合い ・標準色 () ・特注色 ()	/					
	・フローリングブロック ・接着工法 ・		手すりの握り部分 種 別 施工箇所	V					
	- モザイクパーケット1等 ・接着工法 ・ ・		※集成材クリアラッカー仕上げ	/					
			(市販品 径 約45mm、又は 約60mm) ・ステンレスパイブ (HL仕上げ)	/			/		
/			・鋼製パイプ (・ E P - G ・ S O P)			A			
/		V	・ビニル製ハンドルレール		設計年月日	<u>/ </u>	工事名称	図五番号	
#D m	7⋣ ≘爪 ≘⊞							泊駅南公園 遊具上屋 建築工事	
期日町	建設課						図面名称	建築特記仕様書 その4 A-04	

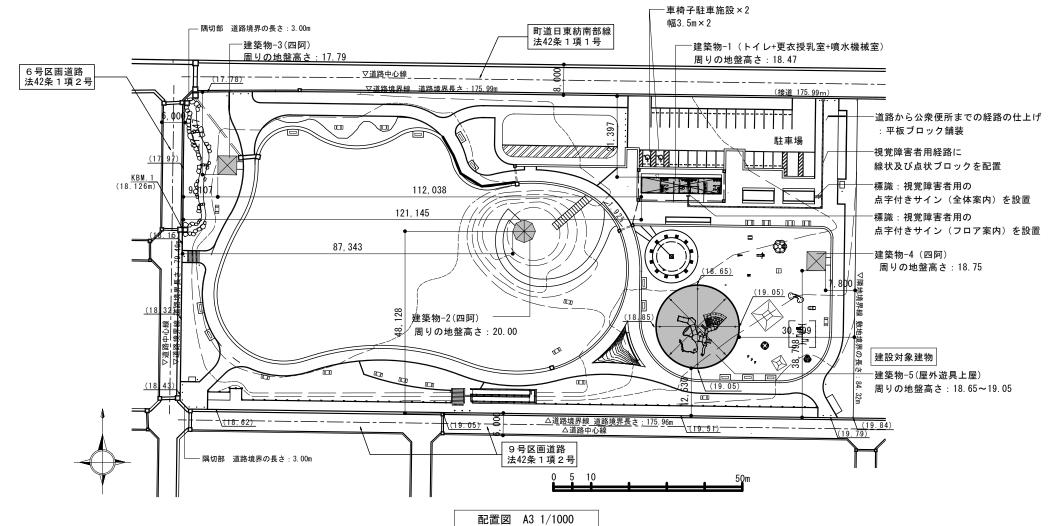
22 1 路床 舗 装	路床の材料 種別 形式 厚さ(mm) ・盛土 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ※図示		- 鎌石舗装 種類 厚さ (mm) 施工方法 基原 ※小舗石 花こう岩) ※80~100 ・ ※うろこ張り ※コンクリート舗装					
事	- 建設汚差から再生した処理士		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
	<td colo<="" color="1" rowspan="2" th=""><th></th><th>区 分 種類 厚さmm 備考 777:32材 ※砂・空練りモルタル 30 基層 ・コンクリート版 70 ・再生報報度アスラブルト混合物(20) 50</th><th></th><th></th><th></th><th></th></td>	<th></th> <th>区 分 種類 厚さmm 備考 777:32材 ※砂・空練りモルタル 30 基層 ・コンクリート版 70 ・再生報報度アスラブルト混合物(20) 50</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>		区 分 種類 厚さmm 備考 777:32材 ※砂・空練りモルタル 30 基層 ・コンクリート版 70 ・再生報報度アスラブルト混合物(20) 50				
	- 高炉セメントB種 ・生石灰() ・浦石灰() ・適化材(・セメント系 ・石灰系) 添加量 kg/m3 (目標DBR ※3以上 ・)			コンクリート版は、コンクリート舗装による。 加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による。 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内				
	・ジオテキスタイルによる安定処理 ・行う ・行わない ジオテキスタイルの品質 単位面積質量 ・60g/m2以上 ・ 厚さ (mm) ・0.5~1.0 ・	9 砂利敷き	・A種 B種 添面表示用塗料					
	Fig. (min)	10 区画線	短回級の小型を付 規格番号 種類 施工時の条件 適用 寸法 (mm) 色彩 JIS K5665					
2 路床試験	・路床土の支持力比試験 ※行う (※乱した土 ・乱さない土) ・行わない ・路床締固め度の試験 ※行う ・行わない ・砂の粒度試験 ※行う ・ 行わない		※3種1号 溶融 粉体状 厚さ ※1.0 低揮発性有機溶剤型の路面表示用水性塗料					
	・現場CBR試験 ・行う ・安定処理±のCBR試験 ・行う ・大価クロム溶出試験 ・行う ・行わない ・行わない	23 1 植栽地の確認 植 栽	・土壌の水素イオン濃度試験 (pH) ・行う ・行わない ・電気伝導度 (EG)の試験 ・行う ・行わない					
3 路盤	材料 ・砕石 (・クラッシャラン ・粒度調整砕石) ・再生材 (・クラッシャラン ・粒度調整砕石) ・クラッシャラン鉄網スラグ	エ 2 樹木の植栽基盤整備 事	工法 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 整備範囲 ※図示 ・薬張り部分 ・植栽部分 有効士層の深さ ※標仕23.2.1による ・					
	・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 厚さ ※図示による		土壌改良材 ※適用する() ・適用しない 植栽基盤の排水設備 ・設ける(※図示 ・) ・設けない					
4 アスファルト舗装	路盤の締め固め度試験 ※行う ・行わない	3 植込み用土 4 土壌改良材	※現場発生土の良質土 ・客土 (※畑土 ・黒土)					
	骨材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 配合(加熱アスファルト混合物の種類) 区分 地域 種類		・ 汚泥免酵肥料 (使用料 ・ 10L/m3 ・ L/m3) 材料「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植書試験の調査の結果、害が認められないものとする					
	表層 ※一般地域 ※密粒度アスファルト混合物 (13) / 細粒度アスファルト混合物 (13) ※密粒度アスファルト混合物 (13下) ・ 細粒度ギャップアスファル・混合物 (13下)	5 樹木 6 支柱	樹種、寸法、株立数等 ※図示 支柱材 ※丸太 ・丸太 (間伐材) ・真竹					
	・		防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 形式 ※図示					
5 コンクリート舗装	舗装の構成及び厚さ ※図示 / ・	7 幹巻き用材料 8 芝	材料 ※幹巻き用テーブ ・図示 種類 ※コウライシバ ・ノシバ 支張りの工法 平地 (※目地張り ・べた張り) 法面 (※目地張り ・べた張り)					
	注入目地材料 ※低弾性ダイブ - 高弾性タイプ コンクリート版厚さの試験 ※行わない - 行う	9 吹付けは種	Z張りの上法 平地 (※日地張り ・ヘに張り)					
6 カラー舗装	- カラー舗装 (表層及び基層の厚さ/は図示による)	10 地被類	- 樹 種 コンテナ径 単位面積当たりのコンテナ数 備考					
	- 常温系 - ・	11 新植、移植樹木、	・					
7 75 144 77 2445 144	配合 結合材に石油機能を使用する場合の顔料添加量 樹脂系混合物 ニートエ法及び塗布工法の配合等・	芝等の枯補償	※引渡しの日から1年 ・無し					
7 透水性及び排水性 アスファルト舗装	・透水性アスファルト舗装(表層及び基層の厚さは図示による) - 排水性アスファルト舗装(表層及び基層の厚さは図示による) - 接水性アスファルト舗装 (表層及び基層の厚さは図示による) - 基 類 対 料 - 表層 ・排水性舗装用アスファルト混合物 ・* リマー改賞アスファルトⅡ型	12 屋上緑化	植栽基盤及び材料 土壌層					
	基層 ・加熱アスファルト混合物等(密粒アスファルト混合物) ・再生アスファルト ・ストレートアスファルト		・屋上緑化 ※図示 システム ・板状成型品 ・屋上線化軽量 ※図示					
8 ブロック系舗装	舗装の平坦性 / ※著しい不陸がないもの アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない		システム					
	種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地材 表面加工 ※普通平板 (N) ※300角 ※60 ※砂 ・研ぎ出し ・透水严板 (P) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		かん水装置 ・設置する (工事区分は図示による)					
	- たたき出し - ケッ/コン村 ・砂 ・空練リモルタル ・30 仕上/リ面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンツート平板間の段差は3mm以内							
	インターロッキングブロック舗装 種類 施工箇所 曲げ強度 厚さ(mm) 横断面勾配 表面加工及び色彩等 ※普通タイプ ※車道部 5N/mm2以上 80 2 % ※標準タイプ							
	・誘導、注意喚起用タイプ ※参道部 3N/mm2以上 60 1.5~296 ・表面化粧タイプ ・選水性タイプ ・1000 ・ 賞色とする ・権生タイプ ・ ・							
	目地材 ※砂							
	区分 郵位 厚さmm 種類 クッション材 - 車路、駐車場 20 砂 - 歩行者用通路 30 川砂、海砂又は良質な山砂							
	(75 µ m ふるい 通過量 696以下) ・ジオテキスタイルの敷設位置							
	※図示 ・敷砂層と路盤の間 ・フィルター層と路床の間 ・ジオテキスタイルの敷設位置 ジオテキスタイルの品質 単位面積質量 ・00g/m2以上 ・							
	厚さ (mm) - 0.5~1.0 引張り強さ - 98M/5cm (10kgf/5cm) 以上 - 透水計数 - 1.5x10* - 1 cm/sec以上 -							
	舗装の割付 ・ヘリンボンボンド (・45° ・90°) 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内							
/		V		設計年月日	工事名称	泊駅南公園 遊具上屋 建築工事	図面番号	
朝日町	⁻ 建設課				図面名称	建築特記仕様書 その5	A-05	

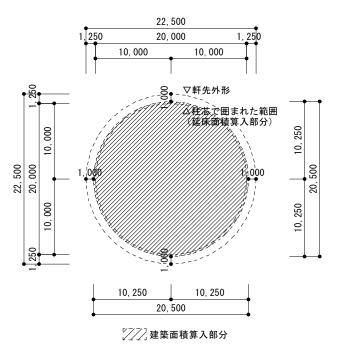




敷地面積求積図 A3 1/2000

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面積
1	195. 87	2. 83	554. 3121	277. 15605
2	194. 89	4. 48	873. 1072	436. 55360
3	186. 07	5. 59	1, 040. 1313	520. 06565
4	175. 55	2. 94	516. 1170	258. 05850
5	170. 35	0. 45	76. 6575	38. 32875
6	195. 87	72. 25	14, 151. 6075	7, 075. 80375
7	178. 09	2. 09	372. 2081	186. 10405
8	169. 57	73. 17	12, 407. 4369	6, 203. 71845
	1	숙 計		14, 995. 78880
	見	數 地 面 積		14, 995. 78 m²



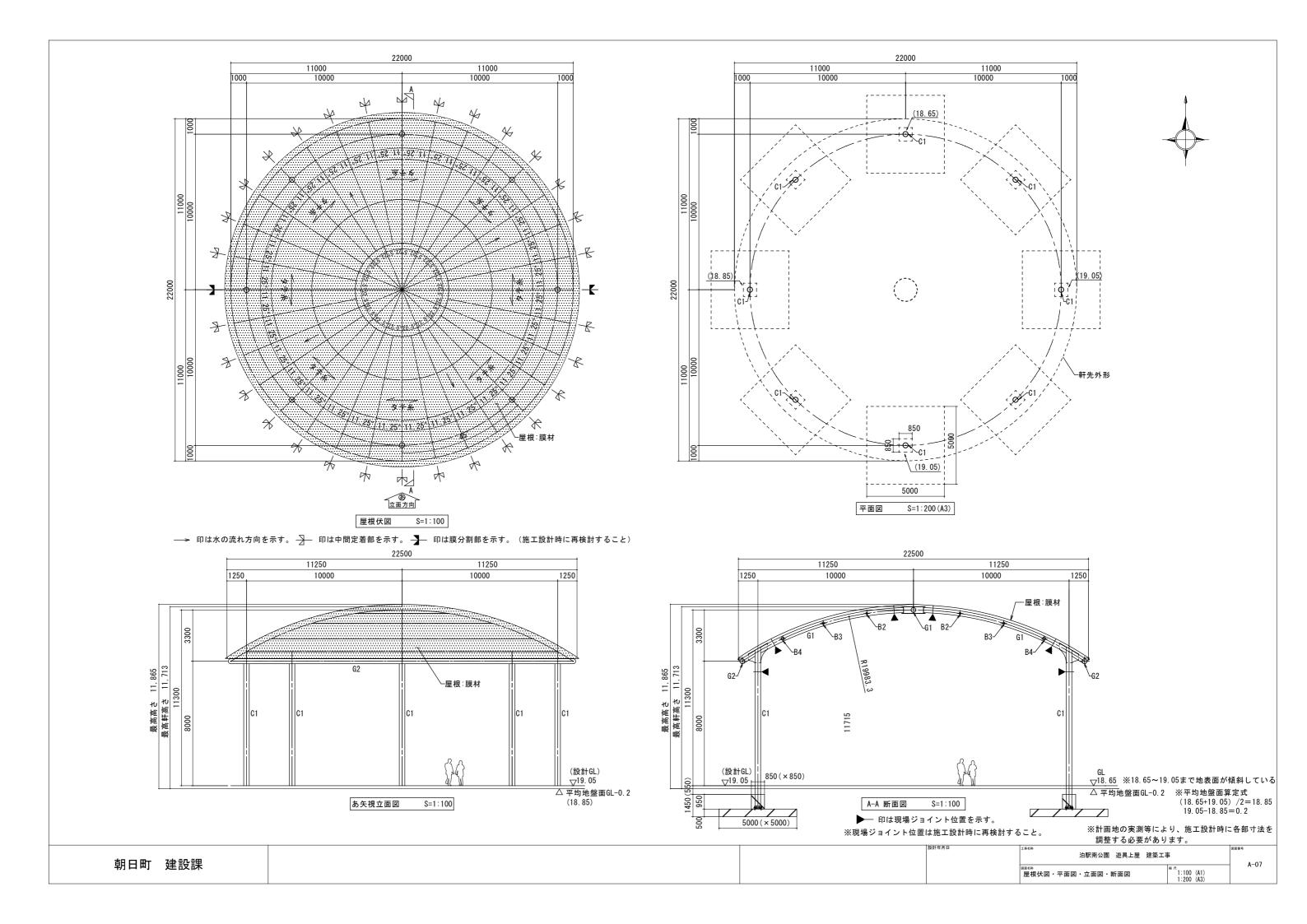


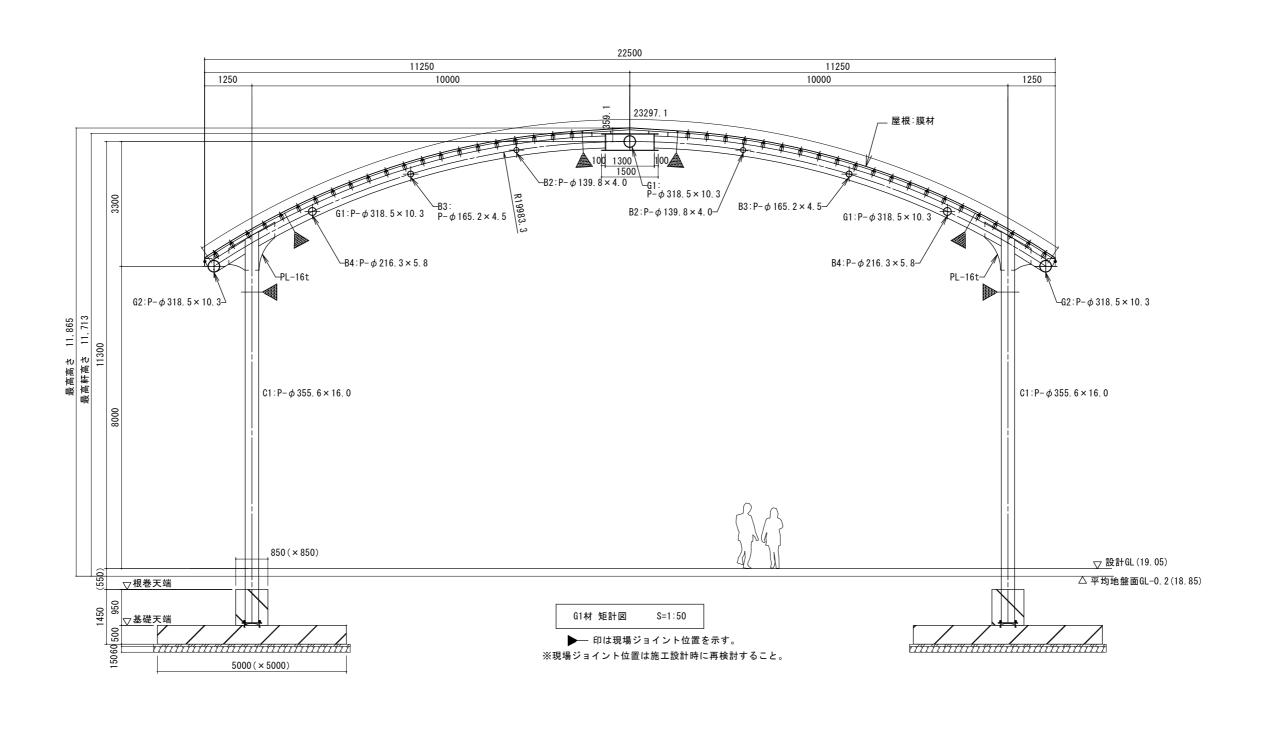
求積表

名称	部屋名	計算式	面積	
游具上屋	延べ床面積	10.00 × 10.00 × 3.14	314.000 m²	容積率2.09%
世共工産	建築面積	10. 25×10 . 25×3 . 14	329. 896 m²	建蔽率2.19%

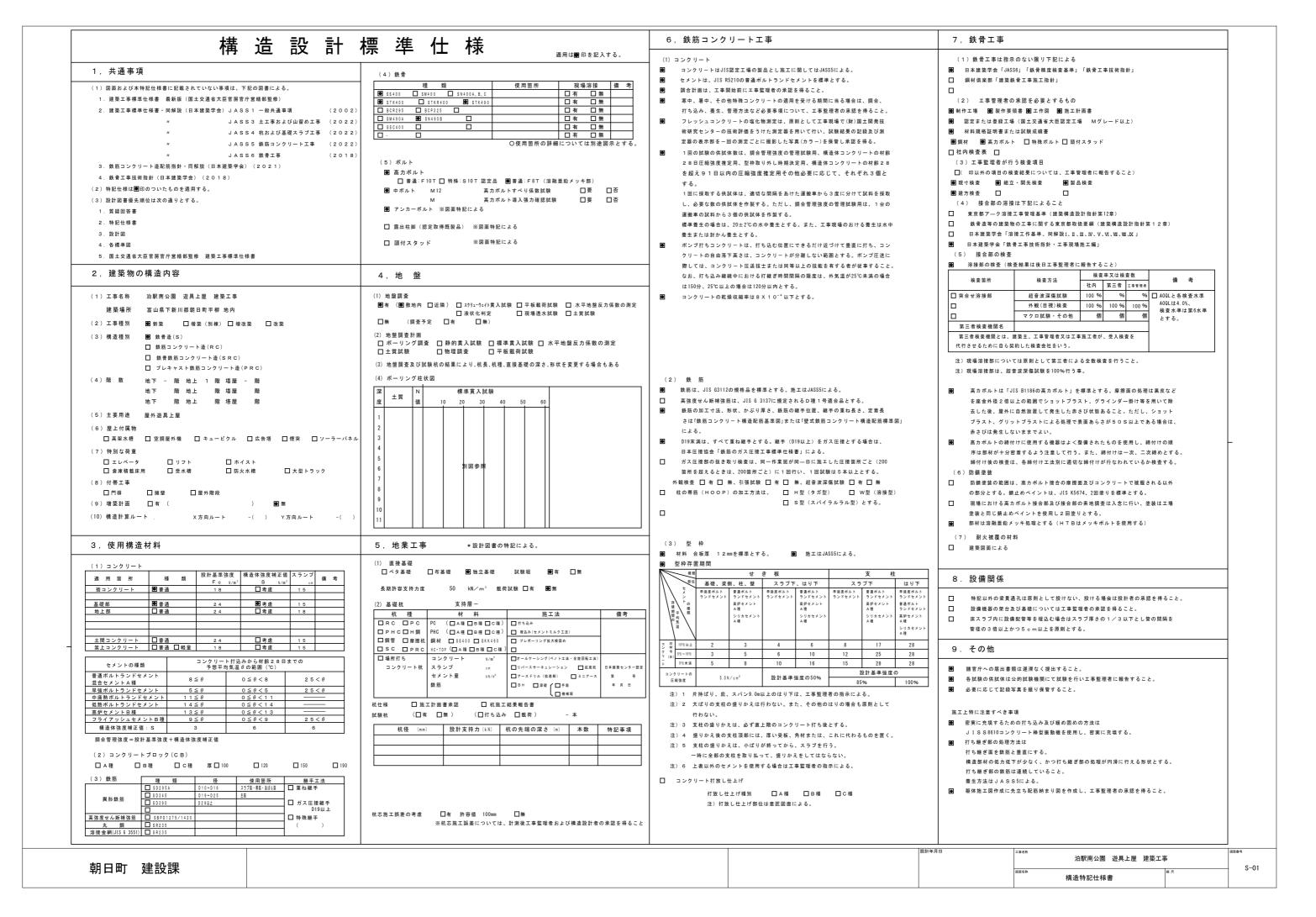
求積図 A3 1/500

朝日町 建設課

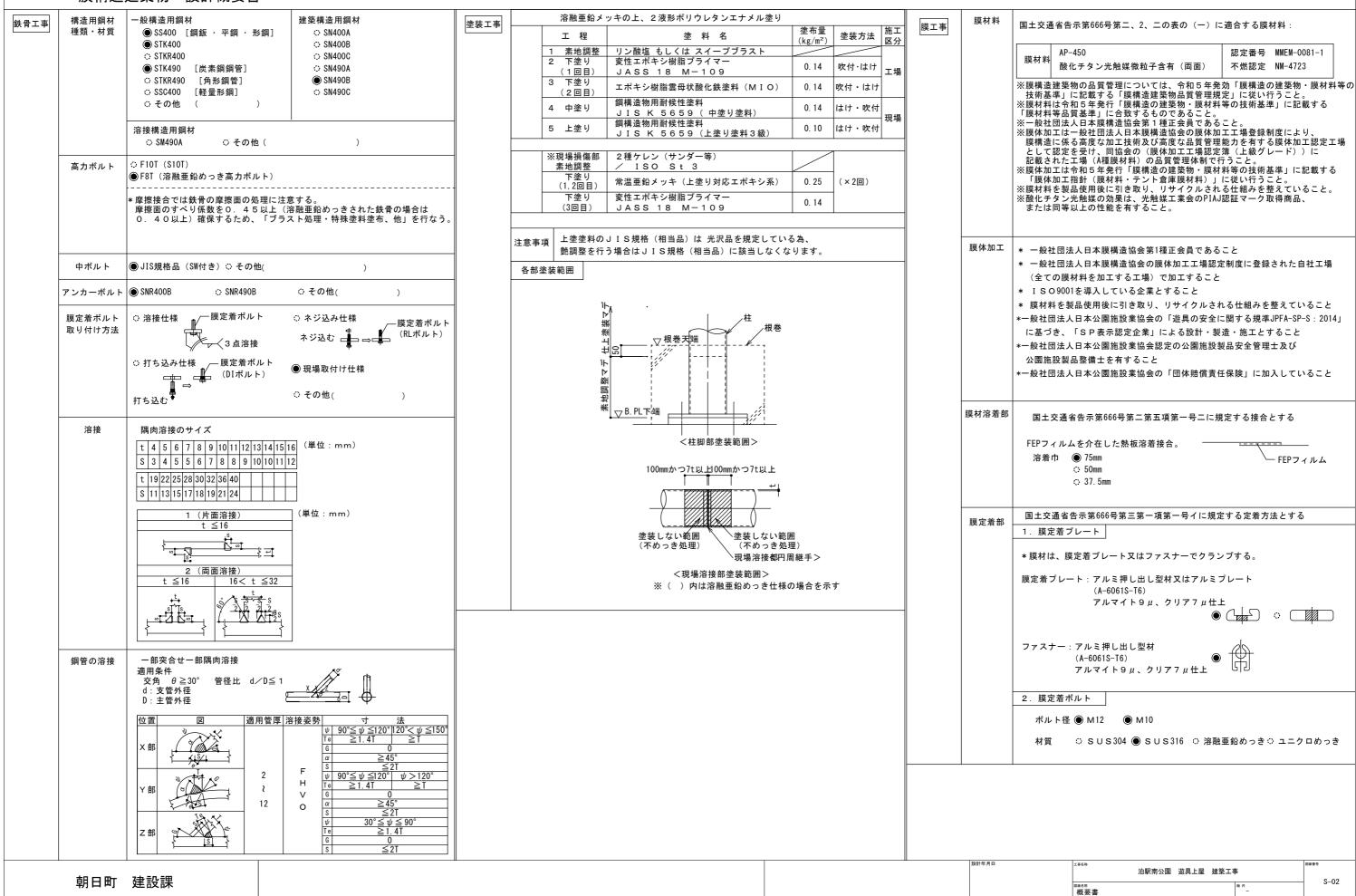




 朝日町 建設課



膜構告建築物 設計概要書



鉄筋コンクリート構造配筋標準図[1]

1. 共通事項

A. 適用範囲

- 1. この標準図は、鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート 構造の鉄筋工事に適用する。
- 2. 設計図書、特記仕様書に記載してある事項以外は、この標準図に よる。この標準図に、記載されていない事項は、「公共建築工事標 準仕様書」による。
- 3. 使用する鉄筋、及び溶接金網は、特記による。 この標準図は、表 1. 1 に示す鉄筋および溶接金網に適用する。 これ以外は特記による。

表 1. 1

規札	格番号	規格名称	種類の記号
JIS	G3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SR235, SR295 SD295A, SD295B SD345, SD390
JIS	G3551	溶接金網	

B. 凡例

d · ・鉄筋の直径(異形鉄筋では呼び名に用いた数値、丸鋼では径)

ho ・ ・部材の内法高さ

Ⅰ ο ・ ・部材の内法寸法

r ・ ・半径

@ · · 間隔

C · · 中心線

C.鉄筋の表示

1. 鉄筋の表示記号は、表 1. 2 による。

表 1.2

表示	記	号	•	×	(Ø		•	•		0			•			\otimes			0	
鉄筋径	異形	鉄筋	D 1 0	D 1	3	D	1 6	3	D ⁻	1 9	D	2	2	D	2	5	D	2	9	D	3	2
	丸	鋼	9 φ	1 3	φ	1	6 ¢	5	1 9	Эφ	2	2 (φ	2	5	φ	2	9	φ	3	2	φ

- (1) 上記の表示記号を使用しない場合は特記による。
- (2) 上記の表示記号は、この配筋標準図には適用しない。

2. 鉄筋の加工・組立て

A. 加工・組立て

- 1. 鉄筋は、設計図書に指定された寸法及び形状に合わせ、常温で正しく加工する。
- 2. 有害な曲がり、又は損傷等のある鉄筋は、使用しない。
- 3. 鉄筋の切断は、シャーカッター等によって行う。ただし、現場でやむを得ない場合は、ガス切断とすることができる。
- 4. 鉄筋には点付け溶接を行わない。また、アークストライクを起こしてはならない。
- 5. 鉄筋の組立は、鉄筋の交差部および継手部の要所を径0.8mm以上の鉄線で結束し、適切な位置にスペーサー、うま、吊り金物等を使用して行う。
 - 尚、スペーサーは転倒及び作業荷重等に耐えられるものとし、スラブ のスペーサーには、原則として銅製スペーサーで、型枠に接する部分 に防錆処理を行ったものを使用する。
- 6. 前に打設したコンクリートから出ている鉄筋の位置を修正する場合 は、鉄筋を急に曲げる事無く、できるだけ長い距離で修正する。
- 7. 設備配管、スイッチ等の設置により、設計図書に定める配筋が困難 な場合は、設計者及び監督職員と協議する。

B. 末端部のフック

1. 次の場合、鉄筋の末端部にはフックを付ける。

(1) 丸鋼

(2) 異形鉄筋

- a. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある 場合。(図2.1の ◆ 印で示す鉄筋)
- b. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両側にある場合。 (図2.1の ● 印で示す鉄筋 伊し基礎梁を除く)
- c. 煙突の鉄筋。(壁の一部となる場合を含む)
- d. 杭基礎のベース筋。
- e. 帯筋、あばら筋及び幅止め筋。

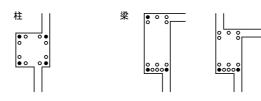


図2.1

C. 折曲げ

1. 鉄筋の折り曲げは、表 2. 1及び表 2. 2による。

表2.1 鉄筋の折曲げ(末端部)

折曲げ 角 度	折曲げ図		S D 2 9 S D 2 9 S D 3 4	5 B 5	SD390	使用箇所
			D 1 6 以下	D19 ~D38	D19 ~D38	
180°	d 量 4 d 以上	D	3 d以上	4 d 以上	5 d 以上	柱、梁の主筋 杭基礎のベース筋 D 1 6 以上の鉄筋
135°	6 % X	D	3 d以上	4 d 以上	5 d 以上	あばら筋、帯筋、 スパイラル筋 D 1 3 以下の鉄筋
9 0°	4	D	3 d以上	4 d 以上	5 d 以上	T 形及び L 形の 梁のあばら筋
135° 及び 90°	4 d b d d b d d d d d d d d d d d d d d	D	3 d以上	4 d 以上	5 d 以上	90°135° 幅止め筋

(注) ・ Dは、曲げ内法直径を示す。

表 2. 2 鉄筋の折曲げ (中間部)

	折曲げ 角 度	折曲げ図		4 5 . S D	使用箇所		
-	丹 及			D 1 6	D19 ~D25	D 2 9	
L				以下	~ D Z 5	~ 0 3 8	
	9 0°	d D	D	3 d以上	4 d 以上		あばら筋、帯筋、 スパイラル筋
	以下	d D	D	4 d 以上	6 D以上	8 D以上	その他の鉄筋

(注) ・ Dは、曲げ内法直径を示す。

3. 鉄筋の継手・定着

A. 鉄筋の継手及び定着長さ

1. 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手又は特殊な鉄筋継手(建築 基準法施行令第73条5項の規定に適合するもの。)とし、適用は 特記による。特記がなければ、鉄筋の種類に応じた継手工法は、 表3.1による。

表3.1 鉄筋の種類に応じた継手工法

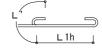
種類の記号	適用径の範囲				
性規の配う	重ね継手	ガス圧接継手			
S D 2 9 5 A	D 1 6以下				
SD 2 9 5 B SD 3 4 5 SD 3 9 0	原則として、D16以下とする。 ただし、基礎、耐圧版、土圧を 受ける壁等の大断面部材の場合 は、D25以下とする。また、 場所打ちコンクリート杭の場合 は、D32以下とする。	D 1 9以上			

2. 重ね継手および定着の長さは、表3.2による。 但し、柱に取り付ける梁の引っ張り鉄筋の定着長さは、特記による。 特記が無ければ、40dと表3.2の定着長さのうち大きい値とする。

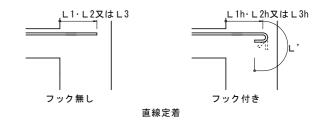
表3.2 鉄筋の重ね継手及び定着の長さ

	コンクリートの	フック無し				フック付き				
鉄筋の種類	設計基準強度 F c (N/mm²)	L ₁	L ₂	小梁	з スラブ	L _{1h}	L 2h	L 小梁	_{3h} スラブ	
	1 8	4 5 d	4 0 d	1 0 d かつ 150mm 以上		3 5 d	3 0 d			
SD295A	2 1	4 0 d	3 5 d			3 0 d	2 5 d			
SD295B	24 27	3 5 d	3 0 d		201 かつ		2 5 d	2 0 d		
	30 33 36	3 5 d	3 0 d			2 5 d	2 0 d			
	1 8	50 d	4 0 d				3 5 d	3 0 d		
SD345	2 1	4 5 d	3 5 d				3 0 d	2 5 d	1 0 d	
30343	24 27	4 0 d	3 5 d			3 0 d	2 5 d			
	30 33 36	3 5 d	3 0 d		1 1~=		2 5 d	2 0 d		
	2 1	5 0 d	4 0 d			3 5 d	3 0 d			
SD390	24 27	4 5 d	4 0 d			3 5 d	3 0 d			
	30 33 36	4 0 d	3 5 d			3 0 d	2 5 d			

- (注) 1. L₁·L₁h: 重ね継手及び2. 以外の定着長さ。
 - 2. L₂·L₂h:割裂破壊のおそれのない箇所への定着長さ。
 - 3. L₃: 小梁及びスラブの下端筋の定着長さ。ただし、基礎耐圧版、 これを受ける小梁は除く。
 - 4. L₃h:小梁下端筋のフック付き定着長さ。
 - 5. フック付きの場合の重ね継ぎ手及び定着長さは、図の様にフック 部分し'を含まない。



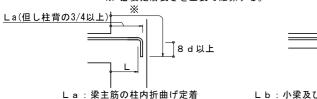
フック付きの場合の重ね継手の長さ

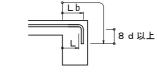


鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [2]

L1又はL2

※ 必要定着長さを全長で確保する。





の投影定着長さ

Lb:小梁及びスラブの上端筋の 梁内折曲げ定着の投影定着長さ

折曲げ定着 図3.1

表3.3 投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの 設計基準強度 F c (N/mm²)	La	LЬ
	1 8	2 0 d	1 5 d
SD295A	2 1	1 5 d	1 5 d
SD295B	24 27	1 5 d	1 5 d
	30 33 36	1 5 d	1 5 d
	1 8	2 0 d	2 0 d
SD345	2 1	2 0 d	2 0 d
30343	24 27	2 0 d	1 5 d
	30 33 36	1 5 d	1 5 d
	2 1	2 0 d	2 0 d
SD390	24 27	2 0 d	2 0 d
	30 33 36	2 0 d	1 5 d

(注) 1. La:梁主筋の柱内折曲げ投影定着長さ。

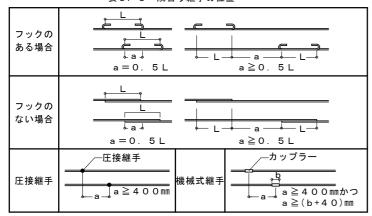
(基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む)

2. Lb:小梁及びスラブ上端筋の梁内折曲げ投影定着長さ。 (片持小梁及び片持スラブを除く)

B. 隣合う継手の位置

1. 隣合う継手の位置は、表3.3による、ただし、スラブ及び壁の 場合でD16以下は除く。なお、先組み工法等で、柱・梁の主筋の 継手を同一箇所に設ける場合は、特記による。

表3.3 隣合う継手の位置

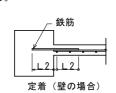


C. 溶接金網の継手及び定着

1. 溶接金網の継手及び定着は、図3.2による。







元 一 一

図3.2

4. 鉄筋のかぶり厚さ及びあき

A. 鉄筋のかぶり厚さ

1. 設計かぶり厚さは、特記による。但しその値は、表4.1に示す値 以上とする。特記が無い場合は、表4.1に示す値とする。但し、柱 及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径 の1.5倍以上として最小かぶり厚さを定める。

表 4. 1 鉄筋のかぶり厚さ (単位:mm)

	構造部分の種別			設計かぶり	最小かぶり
	悟 担 叩 刀 切 性	נימ		厚さ	厚さ
	スラブ、耐力壁	仕上げあり		3 0	2 0
	以外の壁	仕	上げなし	4 0	3 0
	柱、梁、 耐力壁	屋内	仕上げあり	4 0	3 0
土に接し		座内	仕上げなし	4 0	3 0
ない部分		屋外	仕上げあり	4 0	3 0
		座71	仕上げなし	5 0	4 0
	擁壁、耐圧スラ	ラブ		5 0	4 0
土に接す	柱、梁、スラブ、壁			* 5 0	* 4 0
る部分	基礎、擁壁、耐圧スラブ		* 7 0	* 6 0	
煙突等の高	「熱を受ける部分			7 0	6 0

- (注) ・* 印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの 場合は、特記による。
 - ・「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、仕上 げ塗装、吹付け又は塗装等の鉄筋の耐久性上有効でない仕上げのもの を除く。
 - ・スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、 均しコンクリートの厚さを含まない。
 - ・杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。
 - ・ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所に ついても最小かぶり厚さを確保する。
 - ・貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは表4.1による。
 - ・塩害を受ける恐れのある部分等、耐久上不利な箇所には、表4.1を 適用しない。

B. 鉄筋の相互のあき

- 1. 鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合のあきは、特記による。
- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 25mm
- (3) 鉄筋の径(呼名に用いた数値d)の1.5倍



Dは、鉄筋の最大外径

図4.

2. 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄筋とのあきは 1. による.

C. 鉄筋の保護

- 1. 鉄筋の組立後、スラブ、梁等には、歩み板を置きわたし、直接 鉄筋の上を歩かないようにする。
- 2. コンクリート打込みによる鉄筋の乱れは、なるべく少なくする。 特にかぶり厚さ及び間隔の保持に努める。

5. 基礎・基礎梁

A. 直接基礎

1. 直接基礎の配筋は、図5.1及び、図5.2による。 独立基礎 連続基礎

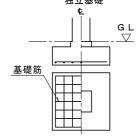


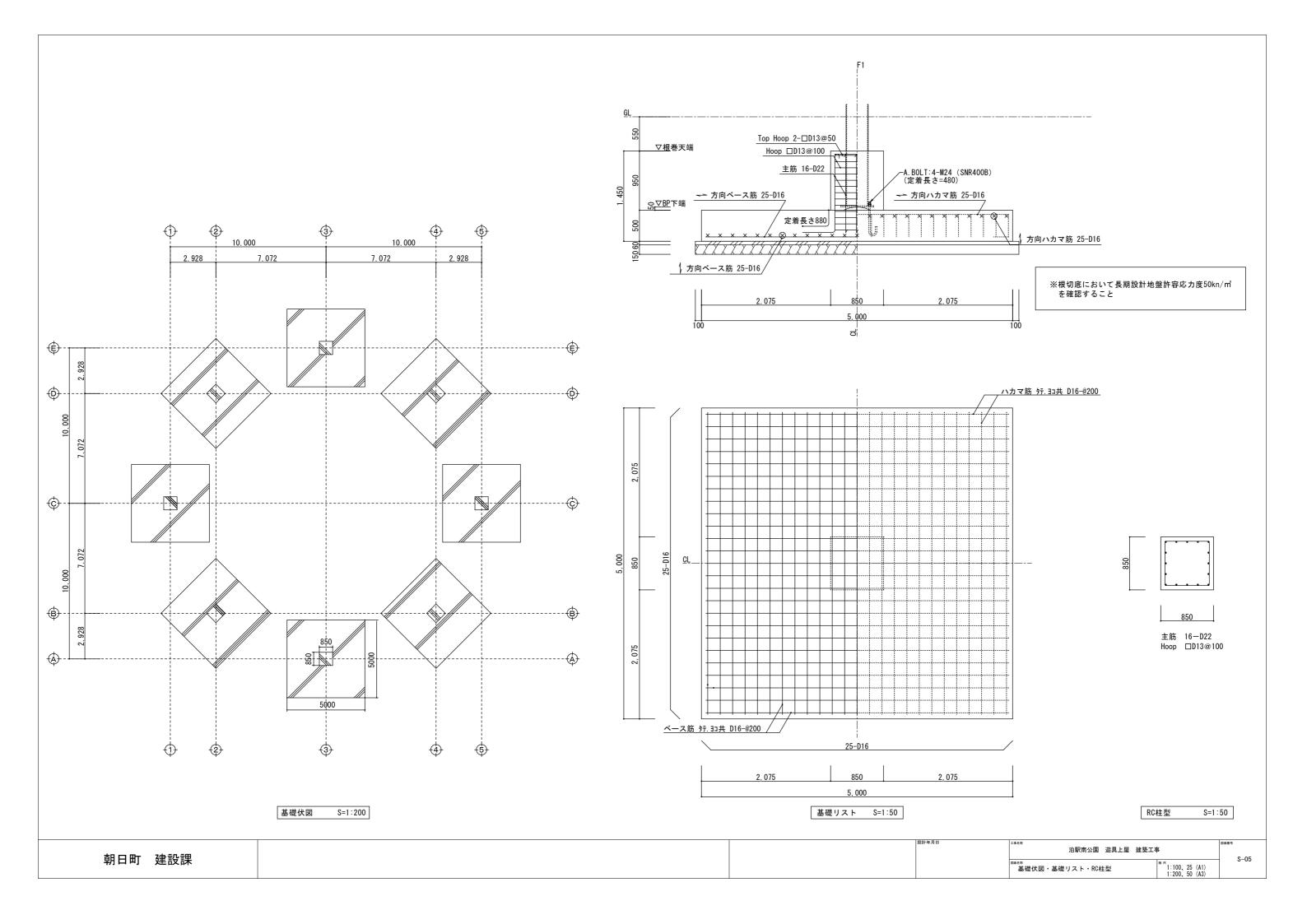


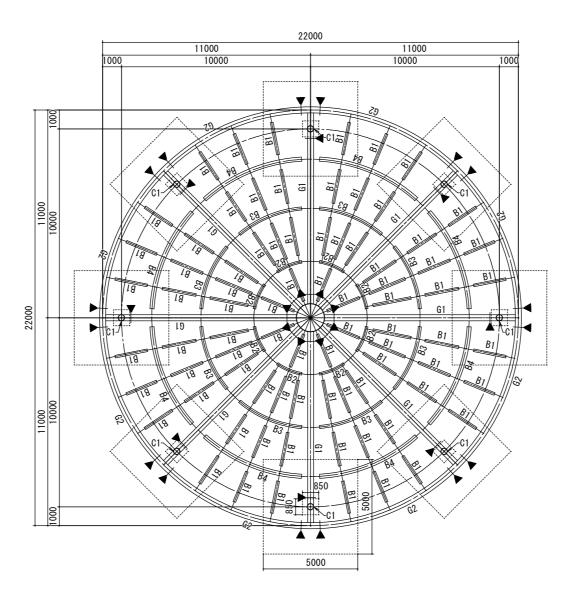
図5.1

図5.2

設計年月日

1単名形 泊駅南公園 遊具上屋 建築工事 ※ S-04 鉄筋コンクリート配筋標準図 [2]





膜材リスト

膜材料	AP-450	認定番号	MMEM-0081-1
	酸化チタン光触媒微粒子含有(両面)	不燃認定	NM-4723

- ※膜構造建築物の品質管理については、令和5年発効「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準」に記載する「膜構造建築物品質管理規定」に従い行うこと。 ※膜材料は令和5年発行「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準」に記載する 「膜材料等品質基準」に合致するものであること。 ※膜体加工は一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場登録制度により、 膜構造に係る高度な加工技術及び高度な品質管理能力を有する膜体加工認定工場 として認定を受け、同協会の(膜体加工工場認定簿(上級グレード))に記載 された工場(A種膜材料)の品質管理体制で行うこと。 ※膜体加工は令和5年発行「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準」に記載する 「膜体加工指針(膜材料・テント倉庫膜材料)」に従い行うこと。 ※膜材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること。 ※膜材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること。 ※酸化チタン光触媒の効果は、光触媒工業会のPIAJ認証マーク取得商品、 または同等以上の性能を有すること。

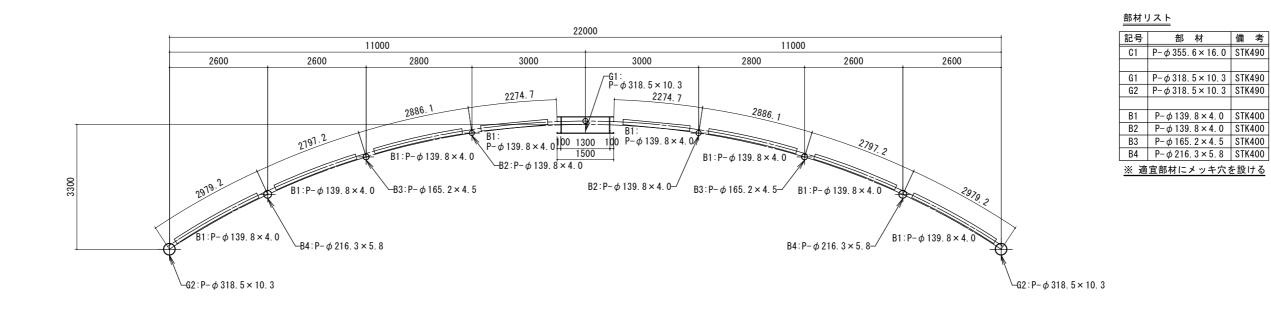
- または同等以上の性能を有すること。

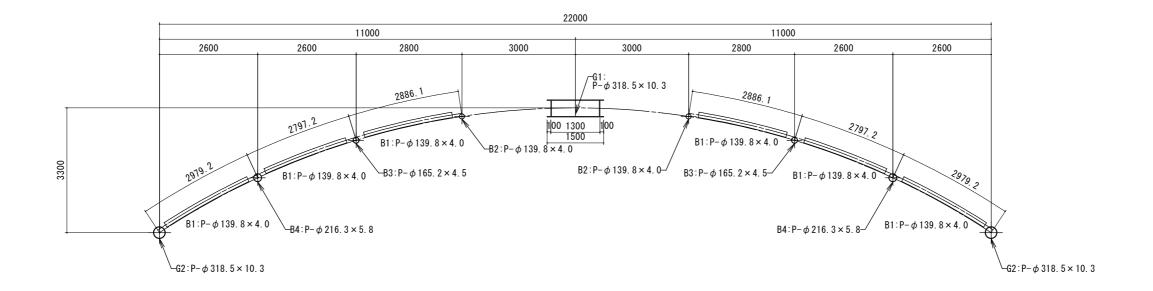
小屋伏図 S=1:100

▶── 印は現場ジョイント位置を示す。

※現場ジョイント位置は施工設計時に再検討すること。

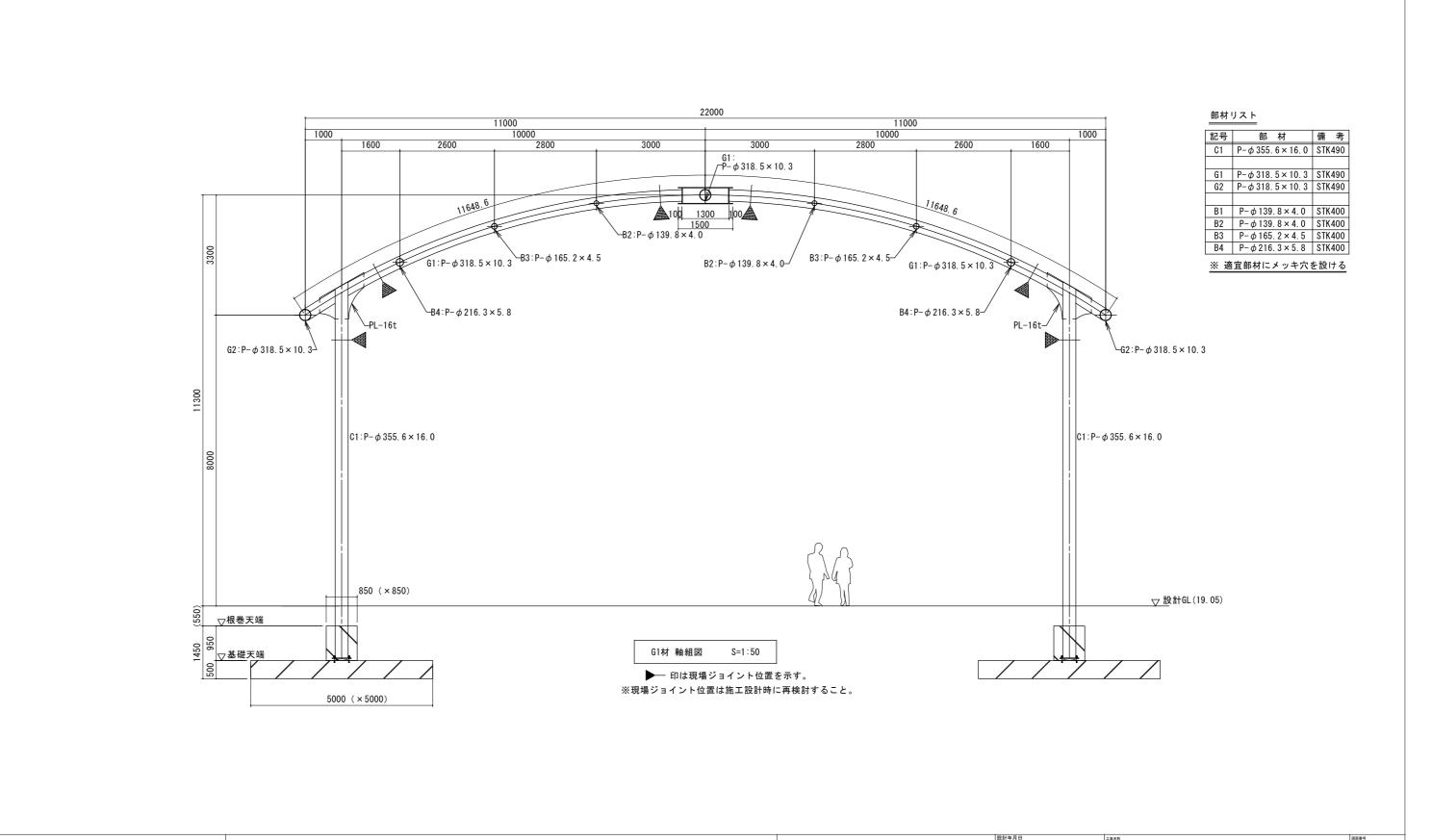
設計年月日	工事名称	泊駅南公園	遊具上屋	建築工事		S-06	
	小屋伏図				相尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)	3 00	





B1材 軸組図 S=1:50

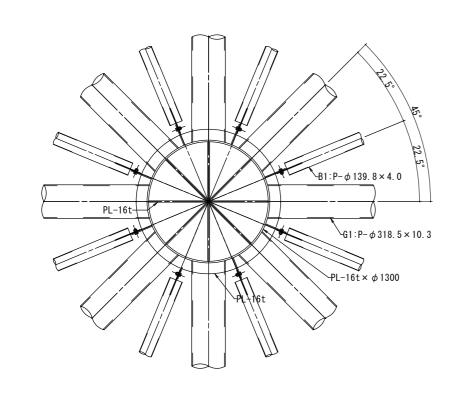
±□ □ □ 7± =□ =□	DANI T773	泊駅南公園 遊具上屋 建築工事		0.07	
朝日町 建設課		軸組図No 1	1:50 (A1) 1:100 (A3)	S-07	



朝日町 建設課

泊駅南公園 遊具上屋 建築工事

^{図面名時} 軸組図No. 2 S-08



G1材

<u>B1材</u>

頂部詳細図 S=1:20

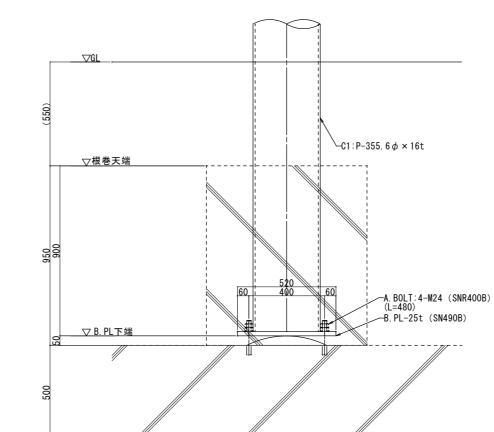
G1: P- ϕ 318. 5 × 10. 3-

B1:P- ϕ 139.8 × 4.0 γ

/E.PL-16t (上下) めっき孔

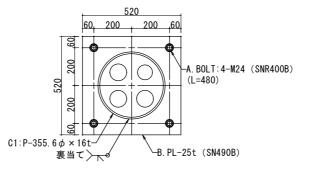
-G1:P-φ318.5×10.3

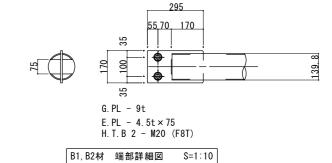
 $_{/}B1:P-\phi 139.8 \times 4.0$

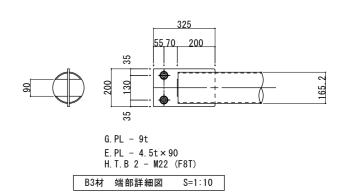


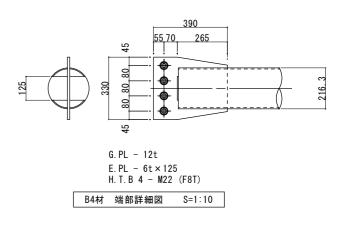
主筋:16-D22	SD345
トップフープ:2-D13	SD295A
フープ筋:D13 @100	SD295A
ハカマ筋:D16 @200	SD295A
ベース筋:D16 @200	SD295A

柱脚詳細図 S=1:10



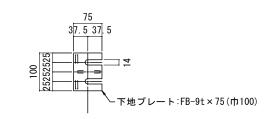


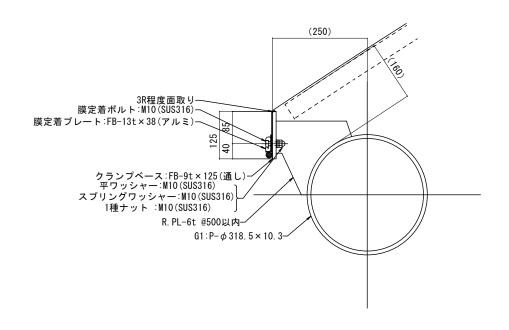


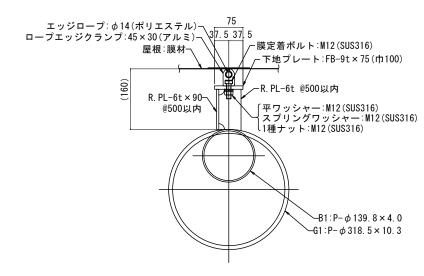


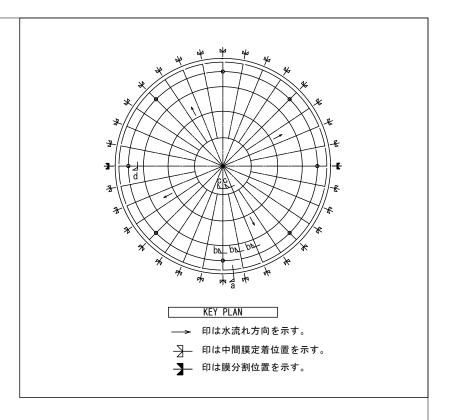
※メッキ穴の位置及びサイズは施工設計時に再検討すること。

		設計年月日	工事名称	F	図面番号
an or or and an			泊駅南公園 遊具上屋 建築工事	. .	S-09
朝日町 建設課			^{國東名神} 鉄骨詳細 図	1:20, 10 (A1)	3-09

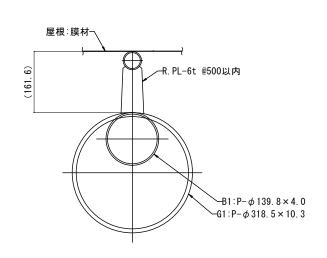








外周(水下部) 膜納まり詳細図 S=1:5 (a 断面)



 膜中間定着部 納まり詳細図
 S=1:5

 (b 断面)
 エッジロープ 14 φ カパーゴム 2t (CSM) 自 膜定着ポルト M10 (SUS316) 膜定着プレート 38X13t (アルミ)

 面出し村:P- φ 48. 6 × 3. 2
 屋根: 膜材

 (の91)

 (取り3R (左右共) R. PL-6t @500
 スゴム 2t (CSM) 白 クランプペース FB-150X9t

頂部 膜納まり詳細図 S=1:5 (c 断面) 膜分割部詳細図 S=1:5 (d 断面)